

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
11時40分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00172	市民劇場等運営委託事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	10	文化の振興							
予算事業	10142	01	02	01	23	02	01	01	市民劇場等運営委託事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）花井 杏菜（2232）				
根拠法令等	文化芸術振興基本法、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興基本計								
事業開始年度	昭和60年度	直近の改正	平成22年度						
改正内容	実施内容の見直し								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民等		
目標	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、また、一部市民参加の事業を実施することで、親しみながら芸術文化の振興と創造を図ります。		
結果	舞台芸術の鑑賞、また自ら参加することで、市民文化の振興と創造を高め、文化の息づくまちづくりの実現を促進します。		
事業概要	クラシックコンサートや親子向けのコンサート、バレエ、芝居など、文化会館の機能を生かした舞台芸術の鑑賞や参加型市民劇場の機会を安価で提供しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	公益財団法人吹田市文化振興事業団
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	企画、運営、管理
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	20,418	19,910	17,578	15,168	20,418
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	22,052	20,700	19,189	16,779	22,007
特定財源(C)	10,280	13,344	7,440	4,572	10,209
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10,280	13,344	7,440	4,572	10,209
市負担(D)	11,772	7,356	11,749	12,207	11,798
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,772	7,356	11,749	12,207	11,798
財源計(C+D)	22,052	20,700	19,189	16,779	22,007

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	00172

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業実施回数	回	目標値	4.00	5.00	3.00
			実績値	4.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	120.00	
目標値の積算方法	当該年度事業実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5,175.00	2,796.50	
			一般財源(千円)	1,839.00	2,034.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業総入場率 (総入場者数/設定座席総数)	%	目標値	70.00	70.00	70.00
			実績値	77.44	42.87	
			達成度(%)	110.60	61.20	
目標値の積算方法	通常公演で目標とする値70%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	267.30	391.39	
			一般財源(千円)	94.99	284.74	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	入場者感想「よかった」の割合 (「よかった」回答者数/アンケート回答数)	%	目標値	60.00	60.00	60.00
			実績値	83.56	78.48	
			達成度(%)	139.30	130.80	
目標値の積算方法	通常公演で目標とする値60%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	247.73	213.80	
			一般財源(千円)	88.03	155.54	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>企画、運営、管理を(公財)吹田市文化振興事業団に委託し、効果的、効率的に実施されており事業費は適切です。</p> <p>平成29年度は文化会館の改修のため、千里金蘭大学佐藤記念講堂や千里市民センター大ホールを会場として実施しました。千里金蘭大学での公演では北千里駅からの送迎バスの運行を行いました。事業総入場率では前年より減少しました。入場者の感想では「メイシアターが休館中でも平和コンサートが実施されてよかった」「初めて観た」「感動した」などの感想をいただき、会場を変えて実施した成果はあったと考えます。</p> <p>音楽、演劇等幅広いジャンルの優れた作品は、市民に生きることの喜びや勇気を与え、また、安らぎをもたらしてくれます。これらの作品を安価で鑑賞できることから、市民ニーズは大変高いものとなっています。</p> <p>今後も、作品の鑑賞の機会の提供はもちろんのこと、市民の参加の機会も検討し市民の文化に対する要求に応えられるような内容となるよう努め、継続していきます。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民劇場等運営委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00172				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		o. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	88	ー ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×125(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

七夕コンサートでは過去のティーンズクラシックフェスティバルでの受賞者がソリストとして参加しました。「舞台芸術を身近に感じた」との市民の声があり、事業間の連携で事業効果を上げています。
 事業の内容は毎年見直しをかけています。
 また、子供の頃から文化芸術に親しめるよう、親子を対象とした事業実施し、対象者に周知できるよう、ちらしの配布などを工夫し、入場者増につなげています。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>作品内容については、市民の声や他市の作品等を参考にしながら、ジャンルの固定化やマンネリ化の防止に心がけ、毎年度見直しを行うとともに、質の高い舞台芸術を安価で提供してきました。あわせて、高収益(入場料収入)が予測できる公演についても検討してきました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年度の市民劇場で開催予定だった「ライブイベント」は、吹田にぎわい観光協会を通じて交渉を進めましたが、公演の内容から例えば市の主催であっても、使用料が高額になること、又演目によっては音量の関係で使用できないこと等、限定される要素が出てきたため、他所も含めて、催し内容の見直しなどの調整をしましたが、実施は難しいと判断し、中止しました。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
11時41分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00173	ティーンズクラシックフェスティバル事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり			
細節	10	文化の振興			
予算事業	10143	01	02	01 23 02 02 01	ティーンズクラシックフェスティバル事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）花井 香菜（2232）		
根拠法令等	文化芸術振興基本法、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興基本計				
事業開始年度	平成2年度	直近の改正	平成22年度		
改正内容	音楽コンクールについて、ピアノコンクールから10代の市民を対象とした普及育成型のクラシック音楽コンクールに改定				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	10代の市民、市民		
目標	音楽コンクールをはじめとするフェスティバル行事を通して、芸術文化活動を支える人材育成を行うとともに、芸術文化の振興を図ります。		
結果	芸術文化活動を支える人材育成や技術の向上と芸術文化への親近感を高めます。		
事業概要	市内在住・在学、吹田に縁のある10歳～大学生の若者を対象とした普及育成型クラシック音楽コンクールを中心に、レッスンから入賞者によるコンサートまでを実施しています。芸術文化活動を支える人材育成を行うとともに、芸術文化の振興と創造を図ることを目的に実施しています。 平成29年度は会場の文化会館が休館のため会場を変更し、主にレッスン事業で実施しました。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	公益財団法人 吹田市文化振興事業団
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	企画、運営、管理
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,700	2,538	2,700	1,928	2,700
人件費職員数(人)	0.50	0.30	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	2,370	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	6,785	4,908	6,726	5,954	6,673
特定財源(C)	200	231	200	102	200
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	200	231	200	102	200
市負担(D)	6,585	4,677	6,526	5,852	6,473
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,585	4,677	6,526	5,852	6,473
財源計(C+D)	6,785	4,908	6,726	5,954	6,673

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	00173

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ティーンズクラシックフェスティバル市民参加事業種類数	種類	目標値	8.00	12.00	9.00
			実績値	8.00	12.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	コンクール+レッスン+コンサート	単位当たりコスト	総事業費(千円)	613.50	496.17	
			一般財源(千円)	584.63	487.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ティーンズクラシックフェスティバル応募による参加者数	人	目標値	99.00	74.00	74.00
			実績値	74.00	16.00	
			達成度(%)	74.70	21.60	
目標値の積算方法	コンクール、レッスン参加者の前年度実績値(平成30年度は前々年度実績値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	66.32	372.13	
			一般財源(千円)	63.20	365.75	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ティーンズクラシックフェスティバル入場者・見学者数	人	目標値	966.00	978.00	978.00
			実績値	978.00	194.00	
			達成度(%)	101.20	19.80	
目標値の積算方法	コンクール、コンサート入場者+レッスン見学者の前年度実績値(平成30年度は前々年度実績値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.02	30.69	
			一般財源(千円)	4.78	30.16	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>企画、運営、管理を(公財)吹田市文化振興事業団に委託し、効果的かつ効率的に実施しており、事業費は適切です。</p> <p>吹田市民劇場七タコンサートでのソリストとしての共演やフレッシュコンサートでソリストとアンサンブルの両方で共演するなど、プロの演奏家と共演し、その共演者からも認められる才能ある若者の発掘、育成ができるようになってきました。</p> <p>今年度は、改修により文化会館が使用できなかったため、市内の他所で、主にレッスン事業で実施しました。参加者や見学者は例年に比べ減少しましたが、幅広いジャンルからの応募がありました。今後も引き続き審査員とも協力しながら、幅広く才能ある将来性豊かな演奏家の発掘、育成につながるものになるよう工夫を重ねながら継続していきます。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ティーンズクラシックフェスティバル事業	事業区分	その他
事務事業番号	00173				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

ティーンズクラシックフェスティバルは、再チャレンジする応募者や満を持しての応募など市独自の参加型芸術として着実に根付き始めています。
 フェスティバル参加者ということで、その後、他の催し等への依頼があるなど多大な評価を得つつあります。
 無料でのレッスン見学、予選入場、本選への市内中・高校生無料招待が周知されつつあることから、演奏者だけでなく鑑賞者の視野を広げることにもつながっていると考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>普及育成型のコンクールを中心に、公益財団法人吹田市文化振興事業団と共催で実施しています。本選への市内の小・中・高校生の無料招待、出演者募集期間の前からティーンズを対象に「審査員による公開レッスン」を行うなど、クラシック音楽の担い手育成に努めています。 平成29年度は、過去及び当該年度の参加者から33名が出演し、エキスポシティのフードコートにおいてコンサートを開催するなど、多くの市民に聴いていただき、将来的に活動の場を広げるといった、今後の展開を念頭に入れた催しも行いました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」
 「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
11時43分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00174	文化振興審議会事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり			
細節	10	文化の振興			
予算事業	10146	01	02	01 23 02 04 01	文化振興審議会事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）大西 秀範（2269）		
根拠法令等	吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興審議会規則				
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	平成28年度		
改正内容	委員数の是正				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	文化振興基本計画、市民文化の振興に関すること等		
目標	吹田市文化振興基本条例に基づき、文化の振興の総合的な推進を図ります。		
結果	豊かで幅広い文化が創造されるまちづくりを進めます。		
事業概要	市民公募委員、文化の専門家、学識経験者からなる委員により、文化振興に関する重要な事項を、市長の諮問に応じ、調査審議するとともに答申し、文化振興基本計画を広く市民に周知します。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	171	77	86	68	86
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	3,973
総事業費(A+B)	988	867	892	874	4,059
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	988	867	892	874	4,059
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	988	867	892	874	4,059
財源計(C+D)	988	867	892	874	4,059

所屬	文化スポーツ推進室
事務事業番号	00174

2頁
平成30年 5月29日
11時43分42秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	文化振興審議会開催回数	回	目標値	2.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	50.00	100.00	
目標値の積算方法	文化振興審議会開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	867.00	874.00	
			一般財源(千円)	867.00	874.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	豊かで幅広い文化が創造されるまちづくりが進むことが期待されます。	達成状況	把握困難

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	
評価の説明	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定 文化振興基本条例に基づき文化振興審議会を設置しています。委員数など過大でなく、事業費は適切です。文化の振興の総合的な推進の役割を果たすため、現行どおり継続とします。 なお、条例に基づき策定している現行の吹田市文化振興基本計画が平成32年度までを終期としていることから、平成31年度は次期計画の策定に向け、現状分析と課題の整理を行うため、審議会の開催回数を増やす必要があります。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化振興審議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00174				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

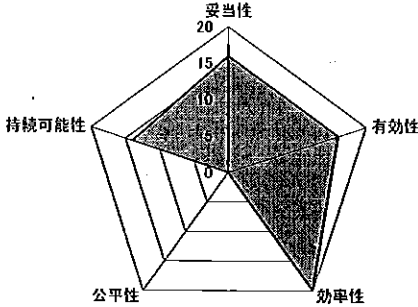
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点	
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点	
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	82	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00174
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>社会情勢の変化と本市の課題に対応した計画の見直しが求められる状況になっています。文化施策の現状把握と市民ニーズをよく把握して審議会に諮っていくことが求められています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>平成29年度の審議会では、文化庁の京都移転に先行して、平成29年4月に地域文化創生本部が設置されたことに伴い、担当者に来ていただき国の動向についての説明を受けました。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
11時44分57秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00175	文化会館管理事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり			
細節	20	文化を育む環境づくり			
予算事業	10183	01	02	01 31 01 01 01	文化会館管理事業（文化会館費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）花井 香菜（2232）		
根拠法令等	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化会館条例				
事業開始年度	昭和60年度	直近の改正	平成24年度		
改正内容	市内使用者が大・中・小ホールを使用し、入場料等を徴収しない場合のホール等の使用料設定				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市文化会館		
目標	市民文化の向上を目的に、より効果的な管理運営を行います。		
結果	文化会館の効率的な管理運営を行うことにより市民文化の振興と創造に期することを目指します。		
事業概要	文化会館の管理運営（大・中・小ホールを中心に展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などがあり、開館時間は午前9時から午後10時までです。休館日は12月29日から翌年1月3日までと、年4日間の臨時休館がある）平成29年度は改修工事のため、ホール・諸室の利用を休止し、平成30年度4月利用を再開しました。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	公益財団法人吹田市文化振興事業団
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	施設管理運営業務全般
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	368,363	357,254	230,955	262,176	379,902
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	4,832	4,832	4,767
総事業費(A+B)	363,265	361,994	235,787	267,008	384,669
特定財源(C)	43,835	49,496	46,230	34,397	84,781
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	43,835	49,496	46,230	34,397	84,781
市負担(D)	319,430	312,498	189,557	232,611	299,888
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	319,430	312,498	189,557	232,611	299,888
財源計(C+D)	363,265	361,994	235,787	267,008	384,669

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	00175

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開館日数	日	目標値	331.00	0.00	331.00
			実績値	331.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	365 - (月2日保守点検日+臨時休館日+年末年始) 平成29年度は1年間休館	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,093.64	0.00	
			一般財源(千円)	944.10	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ホール及び諸室平均稼働率(利用日)	%	目標値	75.80	0.00	75.50
			実績値	75.50	0.00	
			達成度(%)	99.60	0.00	
目標値の積算方法	前年実績値 (平成30年度は前々年度実績値) 平成29年度は1年間休館	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,794.62	0.00	
			一般財源(千円)	4,139.05	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	現在の事業費は、指定管理者により効果的で効率的な運営が行われておりおおむね適切なものと考えますが、景気の動向により、更なる運営の効率化に努めるとともに、増額を検討する必要があります。 平成29年度は、改修工事のため1年間閉館していましたが、利用者の利便性を追求した効果的・効率的な運営は、市民文化の振興を図り、個性豊かな地域文化を創造するために欠かすことのできない重要なものでありますので、現行どおり継続とします。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化会館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00175				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00175
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市と現在指定管理者である(公財)文化振興事業団が連携、協力し、公益目的事業の推進のため収支均衡を図りながら、多くの市民が集うコミュニティの場として、文化発信の拠点として効果的な・効率的な管理運営が行われています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」</p> <p>「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
14時33分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00176	文化会館改修事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	20	文化を育む環境づくり							
予算事業	10184	01	02	01	31	01	01	02	文化会館改修事業（文化会館費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）花井 杏菜（2232）				
根拠法令等	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化会館条例								
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市文化会館		
目標	老朽化している設備を改修することにより、利用者に充実した施設を供することを目的とします。		
結果	施設の充実を図ることにより、利用者が安心して使用することができます。		
事業概要	年度の経過とともに老朽化する設備の改修を行います。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	84,052	88,205	4,036,497	718,709	41,436
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	4,767
総事業費(A+B)	92,222	96,105	4,044,549	726,761	46,203
特定財源(C)	0	0	11,780	0	0
国	0	0	11,780	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	92,222	96,105	4,032,769	726,761	46,203
地方債	0	0	2,968,300	0	0
その他	0	0	878,013	0	0
一般財源	92,222	96,105	186,456	726,761	46,203
財源計(C+D)	92,222	96,105	4,044,549	726,761	46,203

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	00176

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	修繕実施件数	件	目標値	1.00	0.00	0.00
			実績値	6.00	9.00	
			達成度(%)	600.00	0.00	
目標値の積算方法	修繕工事契約件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	16,017.50	80,751.22	
			一般財源(千円)	16,017.50	80,751.22	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 老朽化している設備について、緊急性を要するものから順次改修を行っています。	達成状況 改修しなければ、物理的に貸館業務に支障が出るものを優先的に実施。予算不足から工事を先送りしているものがあります。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	平成29年度の改修は入札の不調と予定していた1年を超えて休館期間を延長できない判断から、当初は30年施設機能を維持する目的の改修内容でしたが、結果として4、6年の延命化を目的とした改修となっています。 施設の老朽化による不都合等は、市民の、文化に触れ文化活動に参加する機会の充実を阻害するものであり、早い時期の改修によって利用者により良い施設を提供する必要があり、施設や設備の定期点検結果も踏まえ、必要に応じた改修を継続して実施していく必要があります。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化会館改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00176				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		o. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00176
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度には、1年間閉館し改修を行いました。改修によって、修繕の必要があった箇所に関しては、修繕工事やリース契約といった形で対応しました。しかし、利用者の方々からは、更なる改修を求める声が上がっていたり、新たに修繕が必要な箇所が出てきたりといったところから、改修事業の検討を重ねる必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
18時39分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01032	市民プール改修事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	03	スポーツに親しめるまちづくり		
細節	10	体育・スポーツ施設の整備		
予算事業				
所属長	熱田 徹	担当者（内線）松本（2873）		
根拠法令等	吹田市民プール条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条			
事業開始年度	昭和37年度	直近の改正	28年度	
改正内容	組織改正、使用料改定による			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	市民プール利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民プール利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の安全性・快適性が確保されます。		
事業概要	市民プールにおいて、吹田市公共施設最適化計画に基づき、計画的に改修工事を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	コナミスポーツ・南海ビルサービス
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	市民プールの管理・運営
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	97,405	20,293	77,369
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	8,170	8,052	8,052	0
人件費総額(B)	0	0	806	806	0
総事業費(A+B)	0	0	98,211	21,099	77,369
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	98,211	21,099	77,369
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	98,211	21,099	77,369
財源計(C+D)	0	0	98,211	21,099	77,369

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01032

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		%	目標値	0.00	0.00	50.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	片山市民プール空調設備改修、北千里市民プールろ過器取替工事	目標	工事期間(平成29年6月28日~平成30年3月15日)内で改修工事を行います。
成果内容	滞りなく改修工事が完了しました。	達成状況	工事期間内で改修工事が完了しました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	平成29年度は片山市民プール空調設備改修、北千里市民プール50mプールろ過器取替工事を実施しましたが、大規模な改修や整備も必要のため、吹田市公共施設最適化計画に基づき計画的に行う必要があります。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民プール改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01032				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納時には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	6	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 o. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	66	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01032
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top, 20), 有効性 (right, 18), 効率性 (bottom-right, 15), 公平性 (bottom-left, 12), and 持続可能性 (left, 10). The chart shows a shaded area representing the current performance level, with 妥当性 being the highest score and 持続可能性 the lowest.</p>		
(3) 現状分析	<p>平成29年度は片山市民プール空調設備改修、北千里市民プール50mプールろ過器取替工事を実施しましたが、今後大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づき施設整備の充実を図ります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
11時49分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01055	市民ギャラリー事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	10	文化の振興							
予算事業	10144	01	02	01	23	02	03	01	市民ギャラリー事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）坂原 友和（2269）				
根拠法令等	市庁舎ギャラリー運営要領、地域市民ギャラリー運営要領								
事業開始年度	平成5年度	直近の改正			平成29年度				
改正内容	ギャラリー数の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民等		
目標	美術作品を展示、鑑賞する場を提供することで、文化活動の振興を図ります。		
結果	市民の美術的創作活動の振興と市庁舎の美観の向上を図ります。		
事業概要	市庁舎ギャラリーと地域市民ギャラリーで市民が創作した美術作品を展示し、訪れた市民に鑑賞して頂いています。地域市民ギャラリーは平成29年度において、勤労者会館、千里丘市民センター、岸部市民センターの3か所となっておりますが、勤労者会館地域市民ギャラリーは平成30年度から指定管理者の業務とすることとしました。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	78	46	78	13	69
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	895	836	884	819	864
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	895	836	884	819	864
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	895	836	884	819	864
財源計(G+D)	895	836	884	819	864

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ギャラリー設置箇所数	箇所	目標値	11.00	11.00	10.00
			実績値	11.00	11.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	平成29年度設置箇所数：市庁舎8+地域3 平成30年度設置箇所数：市庁舎8+地域2	単位当たりコスト	総事業費(千円)	76.00	74.45	
			一般財源(千円)	76.00	74.45	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用件数	件	目標値	143.00	143.00	107.00
			実績値	61.00	56.00	
			達成度(%)	42.70	39.20	
目標値の積算方法	利用件数(ロビー24+地下11+夢24)+地域(勤労者会館36+岸部24+千里丘24)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	13.70	14.63	
			一般財源(千円)	13.70	14.63	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	公共施設の空きスペースを活用して、市民の文化活動の発表の場を提供しており、事業費は適切です。展示利用者の多いギャラリーがある一方、展示利用者の少ないギャラリーもありますが、展示するスペースを公共施設内に無料で提供していることが大切であり、文化の振興・発展につながることから現行どおり継続とします。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民ギャラリー事業	事業区分	その他
事務事業番号	01055				

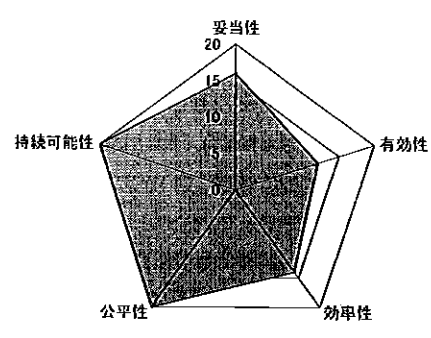
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市庁舎正面玄関付近のギャラリーは人気が高く、展示者を抽選で決めている一方で、他のギャラリーの利用者は少ないというのが現状です。今後利用者の少ないギャラリーの利用のあり方について、検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
14時31分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01056	南山田市民ギャラリー事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	10	文化の振興							
予算事業	10145	01	02	01	23	02	03	02	南山田市民ギャラリー事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）坂原 友和（2269）				
根拠法令等	吹田市立市民ギャラリー条例、吹田市立市民ギャラリー条例施行規則								
事業開始年度	平成16年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	利用料金の改定								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	南山田市民ギャラリー		
目標	美術作品の展示、鑑賞する場を提供することで、文化活動の振興を図ります。		
結果	美術作品の展示、鑑賞によって、市民文化の振興と創造を図ります。		
事業概要	暮らしの身近な場で、市民が創作した美術作品を展示し、鑑賞する機会を提供することにより、市民の美術に関する創作活動を促進し、市民文化の向上を図ります。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	南山田地域文化推進協議会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	施設管理業務等
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,219	3,168	3,262	3,231	3,331
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	4,853	4,748	4,873	4,842	4,920
特定財源(C)	124	160	124	152	120
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	124	160	124	152	120
市負担(D)	4,729	4,588	4,749	4,690	4,800
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,729	4,588	4,749	4,690	4,800
財源計(C+D)	4,853	4,748	4,873	4,842	4,920

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01056

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ギャラリー使用日数	日	目標値	323.00	323.00	323.00
			実績値	206.00	159.00	
			達成度(%)	63.80	49.20	
目標値の積算方法	開館日数359日×0.9=323日	単位当たりコスト	総事業費(千円)	23.05	30.45	
			一般財源(千円)	22.27	29.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	観覧者数	人	目標値	6,180.00	6,180.00	6,180.00
			実績値	4,387.00	3,825.00	
			達成度(%)	71.00	61.90	
目標値の積算方法	実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.08	1.27	
			一般財源(千円)	1.05	1.23	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は、施設管理に最低限必要な費用のみを負担しており適切です。</p> <p>施設の交通利便性などの問題から利用率が低いという課題がありますが、地域に密着して文化活動の広がりや活性化を進め、文化活動の場の提供と充実に努めることは重要です。</p> <p>市民から寄付された財産であるという背景を大切に事業を継続しながら、利用率の向上に向け具体的な対策を検討していきます。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	南山田市民ギャラリー事業	事業区分	その他
事務事業番号	01056				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目録や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	78	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01056
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の利用率を上げるため、市民文化の向上がはかれるのであれば、展示だけでなく講座・講演会・教室、座談会、会議などの利用も可能とし、利用率の向上に努めていますが、駐車スペースがない、駅から遠いといった理由から、一般市民の利用が伸び悩んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
16時32分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01057	市民協働学習センター事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	03	市民参画によるまちづくり							
細節	10	市民参画の推進							
予算事業	10147	01	02	01	23	02	05	01	市民協働学習センター事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）西本 志月（2233）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成14年度	直近の改正			平成28年度				
改正内容	まちづくり市民塾事業を統合。平成28年度には学塾部会、交流部会、情報部会の部会を廃止し、講座を中心に実施することとしました。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、NPO等市民活動団体、大学研究機関		
目標	市民協働のまちづくりの実現		
結果	市民自らが学ぶことで、一歩進んだまちづくりの創造を図ります。		
事業概要	各地域、各分野でまちづくりについて活動している団体が、自由に意見及び情報交換を行い交流を図る場を提供すると共に、市政全般や地域貢献活動について学ぶ講座などを開催します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	市民協働学習センター運営委員会
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	まちづくりに関する講座企画等
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	635	386	635	265	350
人件費職員数(人)	0.50	0.30	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	2,370	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	4,720	2,756	4,661	4,291	4,323
特定財源(C)	60	44	60	7	10
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	60	44	60	7	10
市負担(D)	4,660	2,712	4,601	4,284	4,313
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,660	2,712	4,601	4,284	4,313
財源計(C+D)	4,720	2,756	4,661	4,291	4,323

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01057

2頁
平成30年 5月28日
16時32分27秒作成

<活動指標>

		(1) 活動指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	講座事業開催回数		回	目標値	19.00	21.00	0.00
				実績値	21.00	18.00	
				達成度(%)	110.50	85.70	
目標値の積算方法	前年度実績数値		単位当たりコスト	総事業費(千円)	131.24	238.39	
				一般財源(千円)	129.14	238.00	
		(1) 活動指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	講座事業受講者数		人	目標値	60.00	60.00	0.00
				実績値	20.00	54.00	
				達成度(%)	33.30	90.00	
目標値の積算方法	定員(入門講座30名、応用講座30名)		単位当たりコスト	総事業費(千円)	137.80	79.46	
				一般財源(千円)	135.60	79.33	

<成果指標>

		(2) 成果指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
				一般財源(千円)	0.00	0.00	
		(2) 成果指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
				一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	学習内容をもとに、市民自らがまちづくりに主体的に関わることを目標としており、成果を数値化することが困難です。	達成状況	参加者アンケートによると、知識を深め、地域への関心を高める機会となっています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>市民との協働によりコストを抑えて運営しており、事業費は適切です。</p> <p>市民協働学習センター運営委員会は、市民団体の代表者等によって構成され、市民の視点からまちづくりや地域貢献活動に参画する人材を育成するための入門講座、応用講座などを企画し実施してきました。</p> <p>毎年の講座実施により多くの講座修了者を輩出し、新たに市民活動を行う人材を生み出すなど、着実に実績を上げてきました。トンネルアートやホスピス市民塾など、市民の自主的な地域貢献活動につながっており、一定の目標を達成したと判断し、平成30年度を最終年度として事業を終了するものとします。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民協働学習センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	01057				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	8	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		o. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1点		
評価点合計 (100点満点)	70	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>まちづくりや地域貢献活動に参画する人材の育成のため、市民が継続的、専門的に学習する講座などを毎年開催してきました。</p> <p>講座の組み方やテーマを改善するなど工夫を重ねてきましたが近年は参加者が伸び悩んでいます。また、事業を受託している市民協働学習センター運営委員会は、運営委員の減少や高齢化により、事業の継続が厳しい状況になってきています。</p> <p>平成28年度に事業の整理により体制・事業内容を見直し、市民公益活動センターと連携して事業を継続してきましたが、一定の目標を達成したと判断し、平成30年度を最終年度として事業を終了するものとします。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
16時30分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01060	市展運営委託事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり			
細節	10	文化の振興			
予算事業	10150	01	02	01 23 02 99 99	市展運営委託事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）山辺 貴司（2233）		
根拠法令等	吹田市文化振興基本条例 吹田市文化振興基本計画				
事業開始年度	昭和25年度	直近の改正	平成24年度		
改正内容	所管課の変更				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民等		
目標	市民の文化活動を支援し都市生活者に感動と安らぎを提供します。		
結果	市民の精神的なゆとりと、豊かな情操を養い、本市の芸術・文化活動の向上と発展を図ります。		
事業概要	市民に創作活動の向上を図ると共に美術鑑賞の機会を提供することを目的とし、10月第1土曜日に満16歳以上の成人を対象に第1部：日本画、第2部：洋画、第3部：彫塑、第4部：工芸、第5部：書、第6部：写真、第7部：グラフィックデザインの各部門で公募を行い審査を経て、入選作品の展示を行い、最終日には、表彰式、作品講評会があります。 平成29年度は会場としている文化会館が閉館するため休止し、平成30年度再開予定です。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田市美術協会
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	公募吹田市美術展覧会の審査、講評等
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,349	2,259	0	0	2,349
人件費職員数(人)	0.85	0.70	0.00	0.00	0.85
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,945	5,530	0	0	6,754
総事業費(A+B)	9,294	7,789	0	0	9,103
特定財源(C)	330	297	0	0	297
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	330	297	0	0	297
市負担(D)	8,964	7,492	0	0	8,806
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,964	7,492	0	0	8,806
財源計(C+D)	9,294	7,789	0	0	9,103

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01060

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	出品数	点	目標値	421.00	0.00	421.00
			実績値	339.00	0.00	
			達成度(%)	80.50	0.00	
目標値の積算方法	(公募点数+審査員出展数+招待出展数)の過去5年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	22.98	0.00	
			一般財源(千円)	22.10	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	入場者数	人	目標値	2,743.00	0.00	2,743.00
			実績値	2,603.00	0.00	
			達成度(%)	94.90	0.00	
目標値の積算方法	過去5年1日平均入場者数×9日間	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.99	0.00	
			一般財源(千円)	2.88	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	市民との協働によりコストが抑えられており、事業費は適切です。 事業において、芸術的なレベルアップも効果を図る上で重要な要素ではありますが、指標として数値に表すことは非常に困難です。多くの市民に文化活動への参加を促すうえで、市として実施すべき事業であると考えています。より効率的な運営方法について、他市事例も研究しながら事業を継続します。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市展運営委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	01060				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01060
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市美術協会に委託して開催しています。市民の多様な文化活動に対応し、美術の発展と豊かな情操を養う機会として開催し、多くの出展をいただいています。 ただし、会期、搬入時の受付方法、準備方法等の事業内容について、更なる効率化を目指して検討を続けていく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
14時34分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01061	市民文化祭事業
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり
細節	10	文化の振興
予算事業	10151	01 02 01 23 02 06 01 市民文化祭事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹	担当者（内線）大西 秀範（2269）
根拠法令等	文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興基本計	
事業開始年度	昭和38年度	直近の改正 平成25年度
改正内容	芸術芸能フェスティバル事業を統合	
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）	

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民等		
目標	市民の文化活動を支援し都市生活者に感動と安らぎを提供します。		
結果	市民の精神的なゆとりと、豊かな情操を養い、本市の芸術・文化活動の向上発展を図ります。		
事業概要	<p>春季・秋季に分けて、吹田市文化団体協議会に加盟する団体毎の文化祭を開催することにより、市民に芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供します。</p> <p>平成29年度は会場である文化会館が改修工事のため、市内公共施設において実施しました。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市文化団体協議会
		委託先②	公益財団吹田市文化振興事業団
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	開催、運営
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,094	3,074	3,094	3,063	3,094
人件費職員数(人)	0.80	0.70	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	5,530	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	9,630	8,604	9,536	9,505	9,450
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,630	8,604	9,536	9,505	9,450
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,630	8,604	9,536	9,505	9,450
財源計(C+D)	9,630	8,604	9,536	9,505	9,450

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01061

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	文化祭参加団体数	団体	目標値	30.00	30.00	28.00
			実績値	30.00	30.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	文化団体協議会加盟団体数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	286.80	316.83	
			一般財源(千円)	286.80	316.83	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	文化祭行事開催数	行事	目標値	31.00	31.00	31.00
			実績値	31.00	31.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	春季・秋季・芸術芸能フェスティバル開催数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	277.55	306.61	
			一般財源(千円)	277.55	306.61	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	総観客数	人	目標値	25,500.00	16,500.00	25,200.00
			実績値	27,640.00	21,436.00	
			達成度(%)	108.40	129.90	
目標値の積算方法	過去3年間観客総数の平均 (平成29年度は開催施設の規模により積算)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.31	0.44	
			一般財源(千円)	0.31	0.44	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市民との協働	目標	事業に協働で参加
成果内容	文化団体協議会加盟団体と市民が協働して事業開催	達成状況	市民参加と加盟団体との協働が広がっています

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は吹田市文化団体協議会や(公財)文化振興事業団に委託して実施することで事業効果を上げており、適切です。</p> <p>平成29年度は文化会館改修のため、市内の公共施設で身近な場所で舞台・展示の工夫をしながら行事を開催しました。</p> <p>市民文化祭では友好交流都市との文化を通じた交流や芸術芸能フェスティバルでは文化団体と市民が舞台発表や展示の協働実施、さらに地域の伝統文化教室開催団体とのフェスティバルの協働開催など、市民の文化活動への参加が広がり、今後も発展が見込まれます。</p> <p>事業費の分析や成果の状況を踏まえると、継続すべきです。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民文化祭事業	事業区分	その他
事務事業番号	01061				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(6点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	96	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01061
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

文化団体協議会・加盟団体は、これまでも市民文化祭などを通じて友好交流都市との文化交流を進めています。また、文化団体協議会が中心となり地域で伝統文化に取り組む団体と伝統文化継承事業実行委員会を構成し、伝統文化教室フェスティバルを開催するなど地域のなかで子どもをはじめ市民に文化を広げる取組を進めています。地域や関係機関からの要請に対応して文化を通じて事業協力や文化で国際交流にも協力しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化団体協議会加盟の30団体によって市民文化祭が開催され、多数の来場者があります。芸術芸能フェスティバルには、文化団体と市民と一緒に舞台・展示をつくりあげ市民との文化交流や体験活動の機会を設けるなど協働を広げています。文化会館改修中は市内の公共施設で事業を開催した経験を今後の事業展開にいかしていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成25年度から芸術芸能フェスティバル事業を統合し、文化団体に加入していない市民が文化団体と一緒に舞台・展示をつくりあげ市民との協働を広げています。今後も一層市民やこどもの参加を広げ相互の交流が図れるように工夫し、市民文化祭の内容を充実させていく必要があります。オリンピック・パラリンピックの開催で文化での国際交流が求められる状況にも対応していきます。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
11時57分59秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01062	ロビーコンサート開催事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	10	文化の振興							
予算事業	10152	01	02	01	23	02	07	01	ロビーコンサート開催事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）小泉 美絵（2234）				
根拠法令等	文化振興基本計画								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民等		
目標	市民の文化活動を支援し、都市生活者に感動と安らぎを提供します。		
結果	市民の精神的なゆとりと豊かな情操を養い、また、本市の芸術・文化活動の向上と発展を図ります。		
事業概要	屋休みの時間帯に市役所本庁舎の玄関ロビーでコンサートを開催します。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	40	40	40	40	40
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	857	830	846	846	835
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	857	830	846	846	835
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	857	830	846	846	835
- 財源計(C+D)	857	830	846	846	835

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01062

2頁
平成30年 5月29日
11時57分59秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	コンサート開催回数	回	目標値	2.00	3.00	4.00
			実績値	3.00	4.00	
			達成度(%)	150.00	133.30	
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	276.67	211.50	
			一般財源(千円)	276.67	211.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	観客数	人	目標値	80.00	120.00	150.00
			実績値	120.00	150.00	
			達成度(%)	150.00	125.00	
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.92	5.64	
			一般財源(千円)	6.92	5.64	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>既存の設備の活用や市民(団体)の出演協力により、効率的に実施できており事業費は適切です。出演者やロビー使用可能日の都合上、開催の希望があっても、実現できないケースもあり、例年2~4回実施に止まっています。会場がロビーということで、おおむね妥当な実施回数および観客数です。芸術文化活動の発表と鑑賞の機会を提供するコンサートとして、また市民の心にゆとりをもたらす事業として市民に親しまれていることから、現行どおり継続します。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ロビーコンサート開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	01062				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01062
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

新春に開催している邦楽コンサートは毎年の恒例行事として市民に楽しまれています。そのほかのロビーコンサートは市役所ロビーを市民が活動発表する機会の場合として貸し出す「にぎわいライブ」として開催しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新年の風物詩としてコンサートを楽しみにしている市民が多くなります。また、不定期で開催している「にぎわいライブ」についても好評を得ています。市民の声として感動の言葉や再度開催の要望等もいただいています。出演者とも調整し演奏だけではなく楽器の解説や演奏曲の解説などもいれていただき伝統文化や邦楽に関心を持っていただけるように取り組んでいます。</p> <p>しかし、出演者やロビーの使用状況によって、開催の希望があっても実現できないケースもあり、例年2～4回実施に止まっています。開催日を定期的、定例的にするなど工夫が必要と考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
11時58分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01063	吹田市文化功労者表彰事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	10	文化の振興							
予算事業	10153	01	02	01	23	03	01	01	吹田市文化功労者表彰事業（文化振興費）
所属長	熱田 徹			担当者（内線）	大西 秀範（2269）				
根拠法令等	吹田市文化振興基本条例、吹田市文化功労者表彰要領								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成23年度						
改正内容	表彰事業の市長部局への統合								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	文化・スポーツ団体等文化の振興に功績のあった個人及び団体		
目標	市民文化の活性化		
結果	市長表彰を行うことにより、市民文化の更なる振興を図ります。		
事業概要	学術、芸術・芸能及び社会教育、体育振興等において、本市の文化振興に貢献し、その功績が顕著であると認められる個人・団体に対し、文化の日に市長表彰を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	公益財団吹田市文化振興事業団
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	表彰式典の管理運営業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	360	278	346	316	340
人件費職員数(人)	0.50	0.40	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,160	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	4,445	3,438	4,372	4,342	4,313
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,445	3,438	4,372	4,342	4,313
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,445	3,438	4,372	4,342	4,313
財源計(C+D)	4,445	3,438	4,372	4,342	4,313

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01063

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	関係部署から推薦を基に実績や功績を確認し、被表彰者を決定しました。また、被表彰者名を市報で広く周知しました。	目標	文化の日に表彰式典を開催し、被表彰者の功績を称え市長表彰を行います。
成果内容	各分野で顕著な功績をあげられた1団体と42名の方々が表彰を受けられました。	達成状況	被表彰者だけではなく、市民全体の文化振興の高揚と活性化を図ることができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	表彰式典の運営を(公財)吹田市文化振興事業団に委託するなど事務の効率化に努めており、事業費は適切です。 吹田市文化振興基本条例で、「市は、文化の振興に関し功績のあった個人及び団体の顕彰に努めるものとする」と規定されており、文化振興に係る権威の高い表彰として、本事業を実施しています。被表彰者の日頃の努力やその意思に敬服し、これまでの功績を称え、市民に広く周知することは、被表彰者にとって今後の継続の励みとなるだけでなく、被表彰者はもとより他の市民の文化意識の高揚を図るものとなっており、本市の文化振興の活性化に必要な事業であり、継続します。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	吹田市文化功労者表彰事業	事業区分	その他
事務事業番号	01063				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(6点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01063
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

<p>吹田市文化振興基本条例の中で、文化振興に関する基本的施策の一つに、市は文化の振興に関し功績のあった個人及び団体の顕彰に努めると規定されています。</p>

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>教育委員会で行っていた「文化の日表彰」と、旧文化のまちづくり室で行ってきた「文化功労者表彰」を一本化し、本市の文化振興における最高権威の表彰として被表彰者のこれまでの功績を称え表彰を行っています。</p> <p>市民の日頃からのたゆまぬ努力を表彰することにより、被表彰者はもとより他の市民にとっても文化振興の輪を広げるものとなっています。また、表彰式では、表彰状の授与を行うだけでなく、被表彰者やご来場の方々に楽しくまた文化芸術を感じていただける式典を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

<p>国の文化芸術基本法33条においても、文化芸術の振興に寄与したものの顕彰に努めるとされており、今後も文化芸術において顕著な功労のある方の把握に努める必要があります。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
14時44分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01064	歴史と文化のまちづくり施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	10	文化の振興							
予算事業	10168	01	02	01	25	01	01	01	歴史と文化のまちづくり施設管理事業（歴史文化まちづくりセンタ
所属長	熱田 徹				担当者（内線）山辺 貴司（2233）				
根拠法令等	吹田歴史文化まちづくりセンター条例、吹田歴史文化まちづくりセンター条例施行規則								
事業開始年度	平成15年度	直近の改正		平成24年					
改正内容	貸室の追加								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田歴史文化まちづくりセンター		
目標	地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設の管理を行います。		
結果	まちに個性、魅力及び潤いをもたらし、地域社会の発展に寄与します。		
事業概要	吹田市歴史文化まちづくりセンターの施設の維持管理をし、歴史・文化のまちづくり活動についての施設の提供を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(特非) 吹田歴史文化まちづくり協会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	施設管理業務等
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	24,160	24,074	23,444	23,550	23,611
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	26,611	26,444	25,860	25,966	25,995
特定財源(C)	737	1,030	826	908	1,031
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	737	1,030	826	908	1,031
市負担(D)	25,874	25,414	25,034	25,058	24,964
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	25,874	25,414	25,034	25,058	24,964
財源計(C+D)	26,611	26,444	25,860	25,966	25,995

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01064

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用件数	件	目標値	4,448.00	4,448.00	4,448.00
			実績値	2,657.00	2,817.00	
			達成度(%)	59.70	63.30	
目標値の積算方法	6室×353日(年末年始6日・臨時休館6日除く)×3コマ×70%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.95	9.22	
			一般財源(千円)	9.56	8.90	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	観覧者数+利用者数	人	目標値	20,893.00	21,931.00	21,931.00
			実績値	21,931.00	20,770.00	
			達成度(%)	105.00	94.70	
目標値の積算方法	実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.21	1.25	
			一般財源(千円)	1.16	1.21	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	多くの市民の利用実績があり、利用者1人あたりのコストは低く事業費は適切です。 本事業は地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設の管理を行うという大切な事業であり、まちに潤いをもたらすものです。 利用者からの満足度も高いことから現行どおり継続します。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	歴史と文化のまちづくり施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01064				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	96	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01064
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設ですが、一般的な建造物とは異なる古民家の特殊性から、計画的な改修を図っていく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
14時47分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01065	歴史と文化のまちづくり活動推進事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり		
細節	10	文化の振興		
予算事業	10169	01	02	01 25 01 02 01
所属長	熱田 徹	歴史と文化のまちづくり活動推進事業（歴史文化まちづくりセンタ） 担当者（内線）山辺 貴司（2233）		
根拠法令等	吹田歴史文化まちづくりセンター条例、吹田歴史文化まちづくり事業補助金交付要領			
事業開始年度	平成15年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	補助金要領改正（機構改革）			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民等		
目標	地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るため事業を実施します。		
結果	まちに個性、魅力及び潤いをもたらし、地域社会の発展に寄与します。		
事業概要	吹田歴史文化まちづくりセンターにおいて、地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させるため、文化教養講座や季節行事、伝統芸能等の事業を実施します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(特非) 吹田歴史文化まちづくり協会
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	歴史文化に係る事業等
交付先①		(特非) 吹田歴史文化まちづくり協会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,870	3,826	3,870	3,857	3,870
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	6,321	6,196	6,286	6,273	6,254
特定財源(C)	45	80	74	68	75
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	45	80	74	68	75
市負担(D)	6,276	6,116	6,212	6,205	6,179
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,276	6,116	6,212	6,205	6,179
財源計(C+D)	6,321	6,196	6,286	6,273	6,254

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01065

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業実施回数	回	目標値	70.00	72.00	72.00
			実績値	72.00	63.00	
			達成度(%)	102.90	87.50	
目標値の積算方法	過去5年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	86.06	99.57	
			一般財源(千円)	84.94	98.49	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業のべ参加者数	人	目標値	4,097.00	4,097.00	4,517.00
			実績値	3,951.00	4,517.00	
			達成度(%)	96.40	110.30	
目標値の積算方法	実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.57	1.39	
			一般財源(千円)	1.55	1.37	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>多くの市民の参加実績があり、1人あたりのコストは低く事業費は適切です。</p> <p>地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るため、季節行事、地域交流事業、まちづくり関連事業、郷土史調査研究などの委託事業やまちの賑わい創出事業、文化教養事業、伝統芸能、芸術芸能事業、交流事業などの補助事業に活発に取り組んでいます。さらに平成29年度には(公財)文化振興事業団と共催で新たな事業に取り組み、参加者から好評を得ています。</p> <p>十分に設立の趣旨に対応した事業が行われており、現行どおり継続します。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	歴史と文化のまちづくり活動推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01065				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01065
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設設立の趣旨に対応した多様な事業を開催することにより、広く周知することができました。今後は、さらに市民のニーズに合った事業を開催することにより、市民にとって「文化の拠点」になるよう、引き続き展開を進める必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
16時12分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01066	国内都市交流事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	20	文化を育む環境づくり							
予算事業	10176	01	02	01	27	01	01	01	国内都市交流事業（都市交流費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）渡部 修治（2269）				
根拠法令等	各市町とのフレンドシップ交流調印書								
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、文化・スポーツ団体、大学研究機関		
目標	都会にない自然に恵まれた都市で、特色のある文化や歴史等に触れることによって吹田市民にとって憩いの場、安らぎの場として、第2のふるさとを体感してもらいます。		
結果	自然に恵まれた自治体との交流から、その地域の持つ文化や歴史等と触れ合うことで、市民文化の振興と創造を促進します。		
事業概要	新潟県妙高市、福井県若狭町、滋賀県高島市、大阪府能勢町、高知県土佐町、兵庫県香美町の6市町とフレンドシップ協定、及び災害時における相互応援協定を結んでいます。都市化の進行に伴い、市内で失われつつある自然とのふれあいを求めるとともに、地域のもつ文化や歴史等の交歓を通じて体験学習や生涯学習の機会の提供を図り、市民相互の連携コミュニティ活動の振興を図る目的をもって自治体間に交流を求めています。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,622	987	1,451	1,045	735
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	5,707	4,937	5,477	5,071	4,708
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,707	4,937	5,477	5,071	4,708
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,707	4,937	5,477	5,071	4,708
財源計(G+D)	5,707	4,937	5,477	5,071	4,708

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01066

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	交流実績のあった友好交流都市数	都市	目標値	6.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	友好交流提携実施自治体数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	822.83	845.17	
			一般財源(千円)	822.83	845.17	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市主催事業により吹田市民が訪問した友好交流事業実施件数	都市	目標値	3.00	3.00	1.00
			実績値	1.00	2.00	
			達成度(%)	33.30	66.70	
目標値の積算方法	予算上実施可能件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,937.00	2,535.50	
			一般財源(千円)	4,937.00	2,535.50	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	友好交流都市とのそれぞれの市民・町民が行き来した友好交流事業数	件	目標値	6.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	9.00	
			達成度(%)	100.00	150.00	
目標値の積算方法	友好交流提携実施自治体数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	822.83	563.44	
			一般財源(千円)	822.83	563.44	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	友好交流事業にて吹田市民が友好交流都市を訪問した人数	人	目標値	135.00	135.00	45.00
			実績値	55.00	176.00	
			達成度(%)	40.70	130.40	
目標値の積算方法	45人×回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	89.76	28.81	
			一般財源(千円)	89.76	28.81	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>友好都市の費用負担による交流事業も活発で、成果に対する本市の事業費は適切です。</p> <p>友好都市との交流を通し、本市市民が異なる文化や歴史に触れることで、各市町が持つ魅力を発見するとともに、本市の魅力を再発見し、住民意識やアイデンティティを高める機会を作ることができました。</p> <p>今後も双方がアイデアを出し合い、各市町の特徴を生かした交流を通して、それぞれの市町民にとって互いの地が憩いの場となり、第2の故郷として体感してもらえる取り組みを進めるなど、事業を継続します。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	国内都市交流事業	事業区分	その他
事務事業番号	01066				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞り等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子供から大人まで、フレンドシップ協定を締結した市町を訪問することで訪問地を第2の故郷として感じてもらえるよう、サッカーやスキーなどのスポーツやアウトドアを通じた交流事業に取り組んでいます。</p> <p>また、恒例の吹田産業フェアに毎年度6市町が出店し、各市町の特産品等の販売を通してそれぞれの地の魅力を多くの吹田市民にアピールしています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
16時10分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01067	国際交流事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	05	国際感覚豊かなまちづくり							
細節	20	国際理解の推進							
予算事業	10177	01	02	01	27	01	02	01	国際交流事業（都市交流費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）渡部 修治（2269）						
根拠法令等	都市提携盟約書、吹田市国際交流協会事業補助金交付要領、吹田市国際交流推進事業補助金交付要綱								
事業開始年度	昭和57年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	平成27年度吹田市国際交流協会事業補助金における補助対象経費の算出方法の改正。平成28年度機構改革による改正。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、文化・スポーツ団体等		
目標	本市市民の国際感覚を養うとともに、本市の国際化及び多文化共生のまちづくりを進めます。		
結果	国際理解と国際感覚が増進されます。		
事業概要	海外友好都市や他外国からの訪問団を受入れ、ホームステイや学校での交流を通して、吹田市の国際化及び市民レベルの国際交流活動の推進を図ります。 また、吹田市の国際化進展を目指して、多文化共生の社会づくりを進めます。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	公益財団法人吹田市国際交流協会
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	在住外国人市民支援に係る事業
		交付先①	公益財団法人吹田市国際交流協会
交付先②		国際交流活動を行う市民団体	
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,656	9,977	11,401	10,525	10,554
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	20,826	17,877	19,453	18,577	18,499
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	20,826	17,877	19,453	18,577	18,499
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,826	17,877	19,453	18,577	18,499
財源計(C+D)	20,826	17,877	19,453	18,577	18,499

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01067

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	日本語教室開催回数 (吹田市委託事業分)	回	目標値	160.00	156.00	158.00
			実績値	156.00	158.00	
			達成度(%)	97.50	101.30	
目標値の 積算方法	前年度実績回数	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	114.60	117.58	
			一般財源 (千円)	114.60	117.58	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国際交流推進事業補助金交付件数	件	目標値	6.00	6.00	2.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	16.70	16.70	
目標値の 積算方法	予算上最大補助可能件数	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	17,877.00	18,577.00	
			一般財源 (千円)	17,877.00	18,577.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	日本語教室延べ参加者数	人	目標値	2,880.00	2,808.00	2,844.00
			実績値	1,649.00	1,557.00	
			達成度(%)	57.30	55.40	
目標値の 積算方法	講座開催回数×定員(18名)	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	10.84	11.93	
			一般財源 (千円)	10.84	11.93	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国際交流推進事業補助金交付事業への参加者数	人	目標値	38.00	38.00	38.00
			実績値	19.00	36.00	
			達成度(%)	50.00	94.70	
目標値の 積算方法	過去5年間の最大参加者数	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	940.89	516.03	
			一般財源 (千円)	940.89	516.03	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	日本語教室をはじめとする多様な事業を(公財)吹田市国際交流協会に委託し、効果的、効率的に実施されており、事業費は適切です。 だれもが住みやすく魅力ある多文化共生社会の実現に向け日本人市民も外国籍市民等も互いに学び合い、協働の視点に立って活動できるまちづくりとなるよう、異文化理解を超えて多文化共生が市民の活力となる施策を推進するための指針として、平成29年10月「吹田市多文化共生推進指針」を策定しました。これまでの「交流」に着目した考え方から、「多文化共生」といった広い視野からの事業を展開するよう意識改革を図りました。 平成30年度から「多文化共生」を広くアピールするため、事業名をこれまでの「国際交流事業」から「多文化共生推進事業」に変更するとともに、本施策を具現化する事業をスタートさせる予定です。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	国際交流事業	事業区分	その他
事務事業番号	01067				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01067
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(公財)吹田市国際交流協会を受託者として、日本語教室事業、コミュニティ通訳運営業務の支援などを実施しました。 平成29年度は、異文化理解を超え多文化共生が市民の活力となる施策の推進をめざす「吹田市多文化共生推進指針」を策定しました。策定後は、本指針を具現化するための事業について検討を進めました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
16時09分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01068	千里ニュータウンプラザ施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	05	国際感覚豊かなまちづくり							
細節	20	国際理解の推進							
予算事業	10178	01	02	01	27	01	02	02	千里ニュータウンプラザ施設管理事業（都市交流費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）渡部 修治（2269）						
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	平成25年度から事業名を（仮称）南千里公共公益施設管理事業から千里ニュータウンプラザ施設管理事業に変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他			
対象	吹田市国際交流協会			
目標	吹田市の国際交流の活動の拠点となる施設の維持・管理を行うことにより、市民の国際交流活動の場を確保するとともにその促進を諮ります。			
結果	本市の国際化及び多文化共生の推進が円滑に図られます。			
事業概要	千里ニュータウンプラザ内における吹田市国際交流協会に係る施設・経費の管理業務事業			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田南千里PFI（株）	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	施設の管理維持、修繕	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	19,509	19,129	18,707	18,392	19,108
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,062	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	20,326	19,919	19,513	19,198	19,903
特定財源(C)	1,776	1,439	1,685	1,410	1,674
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,776	1,439	1,685	1,410	1,674
市負担(D)	18,550	18,480	17,828	17,788	18,229
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,550	18,480	17,828	17,788	18,229
財源計(C+D)	20,326	19,919	19,513	19,198	19,903

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01068

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市国際交流協会面積	㎡	目標値	253.70	253.70	253.70
			実績値	253.70	253.70	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	吹田市国際交流協会面積	単位当たりコスト	総事業費(千円)	78.51	75.67	
			一般財源(千円)	72.84	70.11	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	適正に管理された日数	日	目標値	365.00	365.00	365.00
			実績値	365.00	365.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	適正に管理された日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	54.57	52.60	
			一般財源(千円)	50.63	48.73	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	PFI事業による契約に伴う経費の負担であり、事業費は適切です。 在住外国人市民の支援や、本市国際化及び多文化共生社会の確立を目的として、事業実施のための施設を提供することが必要なため、事業を継続します。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01068				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	77	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01068
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市における国際化及び多文化共生社会の確立を図るため、(公財)吹田市国際交流協会の活動拠点として、施設の提供を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調査

事務事業名	総合運動場改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立総合運動場条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、措置し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	総合運動場利用者												
	目標(どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう総合運動場の改修を行います。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民の安全性・快適性が確保されます。												
(7) 事業概要	総合運動場において、吹田市公共施設最適化計画に基づき、計画的に改修工事を行います。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	38	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)				19,556	17,410	20,997							
	人件費	職員数	人		0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円		806	806	795							
	総事業費(A+B)				20,362	18,216	21,792							
	特定財源(C)				0	0								
	(内訳)	国				0	0							
		府				0	0							
		その他												
市負担(D)				20,362	18,216									
(内訳)	地方債				0	0								
	その他				0	0								
	一般財源				20,362	18,216								
財源計(C+D)				20,362	18,216									
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容		③											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
実績値 (単位:)		0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
実績値 (単位:)		0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	① 活動内容	吹田市立総合運動場管理棟中央監視設備改修工事	目標	工事期間内で改修工事を行います。 (平成29年10月10日～平成30年3月16日)		
	② 成果内容	滞りなく改修工事が完了しました。	達成状況	工事期間内で改修工事が完了しました。		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	管理棟中央監視設備の改修により、機械系統の異常を察知し、警報音がなることにより、施設の安全性が確保されます。 施設の老朽化に伴い、大規模な改修や整備が必要なため、吹田市公共施設最適化計画に基づき計画的に行う必要があります。 事業費は適切であります。				

事務事業評価調査

事務事業名	武道館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立武道館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	武道館利用者											
	目標(どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう武道館の改修を行います。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民の安全性・快適性が確保されます。												
(7) 事業概要	武道館において、吹田市公共施設最適化計画に基づき、計画的に改修工事を行います。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	37	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)				79,478	69,995								
	人件費	職員数	人			0.10	0.10							
		総額(B)	千円			806	806							
	総事業費(A+B)				80,284	70,801								
	特定財源(C)				0	0								
	(内訳)	国			0	0								
		府			0	0								
		その他												
	市負担(D)				80,284	69,995								
	(内訳)	地方債			0	0								
		その他			0	0								
一般財源				80,284	69,995									
財源計(C+D)				80,284	69,995									
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先			①									
		主な委託内容			②									
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先			③									
		内容			④									
<input type="checkbox"/> その他														

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) のが困難な場合	① 活動内容	吹田市立武道館外壁改修工事		目標	工事期間内で改修工事を行います。 (平成29年12月15日～平成30年3月16日)	
	② 成果内容	滞りなく改修工事が完了しました。		達成状況	工事期間内で改修工事が完了しました。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	外壁の改修により、外壁のひび割れ・塗装の剥がれ等や植栽による防水層の破れに伴う機械室への漏水が解消しました。 施設の老朽化に伴い、大規模な改修や整備が必要なため、吹田市公共施設最適化計画に基づき計画的に行う必要があります。 事業費は適切であります。			
	評価の説明					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	武道館改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01357				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01357
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。平成29年度に外壁の改修工事を実施しましたが、吹田市公共施設最適化計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
14時31分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01360	運動あそびプログラム推進事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	03	スポーツに親しめるまちづくり		
細節	40	生涯スポーツの促進		
予算事業				
所屬長	熱田 徹	担当者（内線）岡田 隆男（2671）		
根拠法令等	スポーツ基本法第22条			
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし	
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	市内の子ども			
目標	各施設と連携を図り、運動あそびプログラムの普及を推進し、身体を動かすことが好きな子どもを増やして、自発的な活動機会の増加に繋がります。			
結果	幼児期に、身体を動かす楽しさを実感できるきっかけをつくることで、自発的に身体を動かす機会を増やすことをもって、「からだ」と「こころ」の健やかな育成に繋がります。			
事業概要	市内の保育所、幼稚園及び認定こども園の職員に対し、運動あそびの考え方やアプローチ方法を紹介したり、保育環境に合わせた活用方法を提案します。 千里金蘭大学との共同研究により、子どもを対象にアプローチするための身体活動実践集を作成します。 事業で得た情報を基に、千里金蘭大学と共同して、子どもの育ちに関する情報発信を行います。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①			
	交付先②			
	交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01360

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市立の保育所・幼稚園及び認定こども園への巡回実施園数	園	目標値	34.00	34.00	32.00
			実績値	21.00	26.00	
			達成度(%)	61.80	76.50	
目標値の積算方法	市立の保育所・幼稚園及び認定こども園全園	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	数値による指標設定が困難であると考えます。
	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適切であると考えます。(理由) 新たな予算を計上せず、専門職員の人材活用による事業として実施しています。事業に係る経費(人件費を除く需用費等)は、連携を結んでいる大学側で計上しているため、市の負担を無くすことができおり、コスト削減に繋がっています。</p> <p>【今後の方向性】 今後は、子どもの育ちに関する「suitable(吹田でできる)」の取組として、ガンバ大阪、千里金蘭大学と産学官連携を進め、市の魅力について広く情報発信を図りながら事業を継続していきます。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動あそびプログラム推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01360				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができずか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01360
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、類似事業がないため、比較・分析することができないと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 文部科学省が幼児期運動指針を策定する等、子どもの育ちに関する課題を改善するため市が取組むべき事業であり、市立保育所、幼稚園及び認定こども園の職員を対象に行ったアンケート結果から、運動あそびを通して、子どもが自発的に身体を動かす機会を増やすきっかけづくりとして確実に広がっていることが分かり、事業の実施意義はあるものと考えます。</p> <p>(3)効率性 大学連携による共同研究を実施し、市ではできないデータ解析によるエビデンスの獲得や情報発信について、大学が持つ資源(人材・備品・経費等)を無償で活用することにより、コスト削減を図ることができていると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
13時13分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01554	サッカースタジアム基金積立事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11760	01	02	01	40	01	01	01	サッカースタジアム基金積立事業（サッカースタジアム基金積立金
所属長	熱田 徹				担当者（内線）中台 和彦（2872）				
根拠法令等	吹田市積立基金条例								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他	
対象	市立吹田サッカースタジアム	
目標	指定管理者のガンバ大阪が負担する大規模修繕費を本市のサッカースタジアム基金に積み立て、将来的な大規模修繕に備えます。	
結果	同基金に積み立てることにより計画的に大規模修繕を行うことができ、安心・安全な施設の運営ができます。	
事業概要	「市立吹田サッカースタジアムの管理に関する基本協定書」の規定に基づき、ガンバ大阪から大規模修繕費として支払いを受け、同スタジアムの将来的な大規模修繕に備え、サッカースタジアム基金に積み立てます。	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先① 委託先② 委託先③ 主な委託内容
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先① 交付先② 交付先③
	<input type="checkbox"/> その他	内容

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50,000	50,000	50,000	50,000	50,001
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	50,817	50,790	50,806	50,806	50,796
特定財源(C)	50,000	50,000	50,000	50,000	50,001
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	50,000	50,000	50,000	50,000	50,001
市負担(D)	817	790	806	806	795
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	817	790	806	806	795
財源計(G+D)	50,817	50,790	50,806	50,806	50,796

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01554

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大規模修繕計画	千円	目標値	50,000.00	50,000.00	50,001.00
			実績値	50,000.00	50,000.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	大規模修繕計画	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.02	1.02	
			一般財源(千円)	0.02	0.02	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:大規模修繕計画に基づき積立を行っているため。)</p> <p>【今後の方向性】 「市立吹田サッカースタジアム大規模修繕計画」に基づく金額を指定管理者から支払いを受け、サッカースタジアム基金へ積み立てることにより、計画的に大規模修繕を実施することができることから、継続して実施していく必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	サッカースタジアム基金積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01554				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
②サービスの水準は適正ですか。			
内部管理	点		
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	75	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01554
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(1) 妥当性④については、将来的な大規模修繕費の積立のため、直接的な市民ニーズはありません。
 (3) 効率性②については、将来的な大規模修繕費の積立のため、迅速にサービス提供する性質のものではありません。
 (3) 効率性④については、将来的な大規模修繕費のために積立している段階のため、事業効率の向上を検討する段階ではありません。
 (5) 持続可能性②についての事業費の増大は、指定管理者負担の積立額が傾斜的に増額するためです。
 (5) 持続可能性③については、指定管理者の負担で大規模修繕費を積立するという類似事業がないため比較・分析することができません。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>(1) 妥当性 将来的な大規模修繕に備え、計画的にサッカースタジアム基金に修繕費を積み立てることで、安心・安全な施設の運営が可能となるため、市の施設としてこのような積立を行うことは妥当であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
11時05分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01696	スポーツ施設情報システム管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	40	生涯スポーツの促進							
予算事業	11730	01	02	01	33	02	01	01	スポーツ施設情報システム管理事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）田畑（2873）				
根拠法令等	吹田市スポーツ施設情報システムの利用に関する規則、スポーツ基本法第12条								
事業開始年度	平成10年度	直近の改正			平成28年度				
改正内容	組織改正による								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	スポーツ施設利用者		
目標	スポーツ施設の利用促進及び使用許可申請等の利便性の向上を図ります。 また、公平・公正な施設利用を目指します。		
結果	スポーツグラウンドや市民体育館等のスポーツ施設の使用許可申請等が容易になることで、利用者の利便性の向上が図られるとともに利用の拡大につながります。		
事業概要	スポーツ施設情報システム（オーパスシステム）では、登録者がインターネットやスポーツ施設等に設置している街頭端末機において、各スポーツ施設の抽選申込、使用許可申請や登録の更新等を行う事ができます。 また、どなたでも同システムを使ってスポーツ施設の案内や空き状況等の情報を得ることができます。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,331	10,340	11,577	12,533	9,335
人件費職員数(人)	1.50	1.10	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	8,690	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	22,586	19,030	19,629	20,585	17,280
特定財源(C)	1,050	1,108	1,068	1,070	1,070
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,050	1,108	1,068	1,070	1,070
市負担(D)	21,536	17,922	18,561	19,515	16,210
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,536	17,922	18,561	19,515	16,210
財源計(C+D)	22,586	19,030	19,629	20,585	17,280

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01696

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	オーパスシステム登録人数	人	目標値	11,936.00	12,220.00	12,329.00
			実績値	11,364.00	11,500.00	
			達成度(%)	95.20	94.10	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.67	1.79	
			一般財源(千円)	1.58	1.70	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	オーパスシステム利用件数	件	目標値	197,278.00	190,526.00	189,513.00
			実績値	165,241.00	176,336.00	
			達成度(%)	83.80	92.60	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.12	0.12	
			一般財源(千円)	0.11	0.11	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)を基に今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	556.43	601.90	
			一般財源(千円)	524.04	570.61	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	システム導入により、予約等が24時間いつでも行えるなど市民の利便性が向上するとともに二重登録防止や機械抽選を行うなど施設利用の公平性の向上にもつながっています。 平成28年度よりASP使用契約と業務用端末機のリース契約、また、平成29年度より街頭端末機のリース契約をそれぞれ5年間の長期継続契約を締結したことにより、安定的な稼働を行う事ができています。 市民の利便性の向上や利用の拡大を図るため、継続するものです。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ施設情報システム管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	1696				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	1696
-----	-----------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>システムを導入したことにより、二重登録の防止や抽選方法などにおいても公平性を担保できるようになりました。 また、24時間いつでも利用できることから、利用者にとっては利便性・効率性が高い事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
18時30分40秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01697	スポーツ大会・教室等実施事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	40	生涯スポーツの促進			
予算事業	11731	01	02	01 33 03 01 01	スポーツ大会・教室等実施事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹	担当者（内線）久堀 有司（2878）			
根拠法令等	スポーツ基本法第22条				
事業開始年度	昭和23年度	直近の改正	なし		
改正内容					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	吹田市内在住・在勤・在学の者			
目標	スポーツイベント・プログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促します。			
結果	市民がそれぞれの年齢や体力、また、目的に応じて生涯を通してスポーツに親しむことができます。また、参加者がさらなる上の大会を目指して技術の向上に取り組むことで、競技スポーツの促進に繋がります。			
事業概要	市民誰もが参加できる身近なスポーツ大会である市長杯（旗）体育大会や、対外試合及び各種スポーツ教室を吹田市体育協会及び吹田市野外活動協会に委託して実施しています。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市体育協会	
		委託先②	吹田市野外活動協会	
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	市長杯体育大会等・各種教室等	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	28,882	28,540	29,581	28,789	28,976
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	32,967	32,490	33,607	32,815	32,949
特定財源(C)	0	169	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	169	0	0	0
市負担(D)	32,967	32,321	33,607	32,815	32,949
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	32,967	32,321	33,607	32,815	32,949
財源計(C+D)	32,967	32,490	33,607	32,815	32,949

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01697

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市長杯大会・各種教室開催回数		目標値	89.00	93.00	93.00
			実績値	94.00	92.00	
			達成度(%)	105.60	98.90	
目標値の積算方法	委託事業数(過去3年間の平均回数)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	345.64	356.68	
			一般財源(千円)	343.84	356.68	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スポーツ大会・教室等の参加者数		目標値	40,009.00	39,902.00	39,109.00
			実績値	36,169.00	33,727.00	
			達成度(%)	90.40	84.50	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.90	0.97	
			一般財源(千円)	0.89	0.97	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率		目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	950.00	959.50	
			一般財源(千円)	945.06	959.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由:市長杯(旗)体育大会は、スポーツ教室等における日頃の練習の成果を発表する場となっており、生涯スポーツの推進において、また競技スポーツの普及においても必要不可欠な事業であるためです。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、長期的な継続が妥当であると考えます。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ大会・教室等実施事業	事業区分	その他
事務事業番号	01697				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01697
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、類似事業がないため、比較、分析することができないと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 市民誰もが気軽に参加できる最も身近なスポーツ大会として、市長杯(旗)体育大会は、市民のニーズが高く、事業の実施意義はあるものと考えます。</p> <p>(3)効率性 事業運営については、吹田市体育協会に委託することで効率的な運営ができています。</p> <p>(5)持続可能性 今後も、市民がより参加しやすい大会となるよう、吹田市体育協会及び各主管団体と協議を図ることが必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
15時31分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01698	地域スポーツ促進事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	40	生涯スポーツの促進							
予算事業	11732	01	02	01	33	03	01	02	地域スポーツ促進事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹			担当者（内線）浅田 真美（2878）					
根拠法令等	スポーツ基本法第22条								
事業開始年度	不明	直近の改正			なし				
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域住民		
目標	スポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促します。		
結果	市民の健康維持・増進		
事業概要	地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を積極的に推進するため、吹田市スポーツ推進委員会に委託の「全市行事」（2行事）と各地区体育振興（協議）会に委託する「地区行事」（35地区×7行事）の事業を実施しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市スポーツ推進委員会
		委託先②	各地区体育振興（協議）会
		委託先③	
	主な委託内容		「全市行事」2行事「地区行事」245行事
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,073	3,935	4,052	3,910	4,126
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	8,975	8,675	10,494	10,352	10,482
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,975	8,675	10,494	10,352	10,482
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,975	8,675	10,494	10,352	10,482
財源計(C+D)	8,975	8,675	10,494	10,352	10,482

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域スポーツ振興事業の参加者数	人	目標値	25,747.00	25,162.00	25,055.00
			実績値	22,861.00	23,564.00	
			達成度(%)	88.80	93.60	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.38	0.44	
			一般財源(千円)	0.38	0.44	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	253.65	302.69	
			一般財源(千円)	253.65	302.69	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由:市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加を促していくために必要な経費であると考えます。)</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標①の地域スポーツ振興事業の参加者数が増加し、目標値に近づき達成度が上がっています。</p> <p>【今後の方向性】 地域住民の健康・体づくりを推進していくために欠かせない事業であるとともに、スポーツを通じて地域住民の交流の機会となり、地域コミュニティ醸成の観点からも継続して実施する必要があります。 また、地域スポーツ関係団体との連携により、今まで運動に親しみのなかった方にも参加してもらえるよう地域行事のPR方法について関係団体と協議を行い、運動実施者の増加を図ります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	地域スポーツ促進・サポート事業	事業区分	その他
事務事業番号	01698				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	6点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01698
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、他市と比較できる事業がないため比較分析ができないと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 身近な場所で誰もが気軽に参加できるスポーツイベントが実施されており、地区行事においても地区の体育振興(協議)会に委託することで、効果的な運営ができています。また、全市行事については、スポーツ推進委員会に委託することで、各地区のニーズを把握するとともに、各地区での参加者を募ることができており、地域の実情に応じた事業運営が可能となっています。</p> <p>(4)公平性 公平性は保っていますが、更に今までスポーツ活動に参加していなかった人にも参加してもらえるよう、事業内容や周知方法を工夫する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
16時24分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01699	各地区市民体育祭補助事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	40	生涯スポーツの促進			
予算事業	11733	01	02	01 33 03 01 03	各地区市民体育祭補助事業（スポーツ推進費）
所属長	熟田 徹		担当者（内線）久堀 有司（2878）		
根拠法令等	スポーツ基本法第22条、第23条、吹田市地区市民体育祭運営事業補助金要領				
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正 平成26年度			
改正内容	補助対象事業に係る領収書等の支払いを証する書類の保存期間を新たに設けました。				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域住民		
目標	スポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促します。		
結果	家族や近隣の方々と共に、スポーツイベントに参加することで、体を動かすことの楽しさを感じるとともに、地域住民の親睦を深めることができ、地域スポーツの活性化につながります。		
事業概要	スポーツを楽しみながら地域住民の健康づくりや親睦を図るため、34地区（36地区中、2小学校区合同開催が2地区）において地区市民体育祭運営委員会が開催している地区市民体育祭事業について、補助を行っています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	13,478	13,155	13,542	13,175	13,529
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	5,562
総事業費(A+B)	17,563	17,105	17,568	17,201	19,091
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	17,563	17,105	17,568	17,201	19,091
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,563	17,105	17,568	17,201	19,091
財源計(C+D)	17,563	17,105	17,568	17,201	19,091

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01699

<活動指標>

		(1) 活動指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	体育祭開催地区	地区		目標値	34.00	34.00	34.00
				実績値	33.00	33.00	
				達成度(%)	97.10	97.10	
目標値の積算方法	地区数	単位当たりコスト		総事業費(千円)	518.33	521.24	
				一般財源(千円)	518.33	521.24	
		(1) 活動指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各市民体育祭の参加者数	人		目標値	64,668.00	63,248.00	59,223.00
				実績値	56,612.00	45,959.00	
				達成度(%)	87.50	72.70	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト		総事業費(千円)	0.30	0.37	
				一般財源(千円)	0.30	0.37	

<成果指標>

		(2) 成果指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上スポーツ実施率	%		目標値	50.00	50.00	50.00
				実績値	34.20	34.20	
				達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト		総事業費(千円)	500.15	502.95	
				一般財源(千円)	500.15	502.95	
		(2) 成果指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト		総事業費(千円)	0.00	0.00	
				一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由: 広く市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加を促していくために欠かせない事業のためです。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、当該事業については、家族みんなで参加できる地域の恒例の行事となっており、地域コミュニティの醸成の観点から有効的な事業であり、継続が妥当だと考えます。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	各地区市民体育祭補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01699				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(6点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01699
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 幼児から高齢者まで、すべての地域住民が参加できる市民体育祭は、市民の健康・体力づくりだけでなく、地域コミュニティの醸成にも役立っており、事業実施の意義はあると考えます。</p> <p>(3)効率性 各地区の体育祭運営委員会が尽力して、地域住民が楽しめる内容を企画しており、有効的な事業運営ができていますと考えます。</p> <p>(5)持続可能性 今後は、さらに高齢者や障がい者の参加を促す工夫をしていく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
16時03分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01700	障がい者スポーツ振興事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	40	生涯スポーツの促進							
予算事業	11734	01	02	01	33	03	01	06	障がい者スポーツ振興事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）宮脇 淳（2674）				
根拠法令等	スポーツ基本法 第2条								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	障がい者他		
目標	スポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促します。		
結果	障がい者の健康、体力づくりや生きがいづくりを図ります。		
事業概要	市民体育館、市民プール、スポーツグラウンドの施設で視覚障がい者、肢体不自由児・者向け各種スポーツの講習会や障がい者体育祭を開催しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	障がい者体育祭実行委員会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	障がい者体育祭企画運営
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,088	1,088	1,088	1,088	1,108
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	2,722	2,668	2,699	2,699	2,697
特定財源(C)	525	518	525	511	525
国	350	345	350	341	350
府	175	173	175	170	175
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,197	2,150	2,174	2,188	2,172
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,197	2,150	2,174	2,188	2,172
財源計(C+D)	2,722	2,668	2,699	2,699	2,697

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01700

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	障がい者スポーツ講習会及び障がい者体育祭の実施回数	回	目標値	13.00	13.00	13.00
			実績値	13.00	13.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	205.23	207.62	
			一般財源(千円)	165.38	168.31	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	78.01	78.92	
			一般財源(千円)	62.87	63.98	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	障がい者スポーツ講習会及び障がい者体育祭の参加者数	人	目標値	602.06	605.37	612.70
			実績値	541.00	558.00	
			達成度(%)	89.90	92.20	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.93	4.84	
			一般財源(千円)	3.97	3.92	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切です。(理由:障がい者スポーツ活動に参加する環境が不十分な中、行政が積極的に関与してサービスを提供することは障がい者の健康維持増進や生きがいづくりとなっています。)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、事業の成果は現状で妥当であり改善の余地はありません。今後、事業成果の目標を達成するためには、新規参加者を増やす必要があります。具体的には、参加者が高齢化しているため、若年層に対する効果的な広報の方法などについて検討する必要があります。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、参加者の年齢、体力に応じた見直しを図りながら継続するものです。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	障がい者スポーツ振興事業	事業区分	その他
事務事業番号	01700				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01700
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>障がい者の方は、自分の要望に応じてくれるヘルパーの活用により、個人で活動されていることが多くなってきています。その結果、市主催事業への参加が減少しつつあると考えます。同じ方の参加であるため、新しい方の参加を呼び掛けていけるよう検討していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
16時07分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01701	運動習慣化プログラム推進事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	40	生涯スポーツの促進			
予算事業	11737	01	02	01 33 03 01 07	運動習慣化プログラム推進事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）宮脇（2674）		
根拠法令等	スポーツ基本法第22条				
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	無し		
改正内容					
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	あらゆる年代の運動習慣未定着層		
目標	あらゆる年代の運動習慣未定着層に医療等のエビデンスに基づいた運動プログラムを提供することにより、日常生活に適切な運動を定着させ、健康寿命の延伸及び幸齢社会の実現を目指します。		
結果	あらゆる年代の運動習慣未定着層に対し、医療等のエビデンスに基づいた運動プログラムを提供することができ、健康寿命の延伸や幸齢社会の実現に寄与できました。		
事業概要	運動習慣未定着層に対し、日常生活に適切な運動を定着させることを目的に、医療等各専門分野の根拠に基づいた運動プログラムを提供します。 市民の健康増進を目的とした事業や関連部局が実施する健康づくり事業などで一般事務（体育）職員の知識や技術を活用し、市民自らが運動を継続実施できるよう環境を整え、サポートします。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	654	630	771	759	173
人件費職員数(人)	2.20	2.00	5.10	5.10	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	17,974	15,800	41,066	41,066	11,918
総事業費(A+B)	18,628	16,430	41,837	41,825	12,091
特定財源(C)	250	250	250	250	0
国	0	0	0	0	0
府	250	250	250	250	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	18,378	16,180	41,587	41,575	12,091
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,378	16,180	41,587	41,575	12,091
財源計(C+D)	18,628	16,430	41,837	41,825	12,091

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01701

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業実施件数	件	目標値	0.00	65.00	50.00
			実績値	65.00	50.00	
			達成度(%)	0.00	76.90	
目標値の積算方法	前年度実施件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	252.77	836.50	
			一般財源(千円)	248.92	831.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生涯スポーツサポート(平成28年度まで生涯スポーツ指導事業) 平成29年度運動習慣化プログラム推進事	件	目標値	523.00	475.00	289.00
			実績値	475.00	289.00	
			達成度(%)	90.80	60.80	
目標値の積算方法	前年度件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	34.59	144.72	
			一般財源(千円)	34.06	143.86	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20から69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	480.41	1,222.95	
			一般財源(千円)	473.10	1,215.64	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当ですが改善の余地があります。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要があります。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果は表せませんが事業費は妥当であるため、継続すべきです。一般事務(体育)職員が直接指導するだけでなく、市民自ら進んで継続的に生涯スポーツや健康づくりに取り組めるよう、環境やきっかけづくり等のサポートが必要となります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動習慣化推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01701				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01701
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますかの箇所ですが、近隣市に比較対象となる事業や同種の事業がないため(1点)としています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保健センターとの兼務により、健康教室の共催実施、健康ポイント制度での運動実施のポイント加算等の事業を実施することで、市民の健康に対する意識や運動の必要性についての意識を高めることができました。</p> <p>また、手軽に取り組むことができるウォーキングやスマイル体操を紹介し、運動習慣のきっかけづくりとなりました。</p> <p>事業の継続性が維持可能かどうかを精査しながら派遣を行っています。</p> <p>今後は一般事務(体育)職員による直接指導だけでなく、市民自ら進んで継続的に健康づくりに取り組めるよう、環境やきっかけづくりなどのサポートが必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
18時11分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01702	学校体育施設開放事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	03	スポーツに親しめるまちづくり		
細節	10	体育・スポーツ施設の整備		
予算事業	11738	01	02	01 33 03 02 01 学校体育施設開放事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）浅田 真美（2878）	
根拠法令等	スポーツ基本法第13条、吹田市学校体育施設開放事業実施要領			
事業開始年度	昭和39年度	直近の改正	平成20年度	
改正内容	管理指導員の制度を見直し、自主管理方式を導入することにより、管理指導員報償費を廃止しました。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域住民及び地域住民で構成する団体		
目標	スポーツを行う場所及びスポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促します。		
結果	市民の体育・スポーツ活動への参加を促進することで、健康の維持、増進を図るとともに、地域スポーツの活性化を図ります。		
事業概要	すべての人が身近な場所でスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して、地域住民を対象に学校体育施設を開放しています。事業運営については、各地区学校体育施設開放運営委員会に委託しており、昼間開放は小学校35校、中学校18校で、夜間開放は小学校3.5校と中学校14校で実施しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	各小・中学校学校体育施設開放運営委員会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	使用調整・管理・運営全般
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	24,747	24,093	24,274	29,241	23,847
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	31,283	30,413	30,716	35,683	30,203
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	31,283	30,413	30,716	35,683	30,203
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	31,283	30,413	30,716	35,683	30,203
財源計(C+D)	31,283	30,413	30,716	35,683	30,203

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01702

2頁
平成30年 6月 8日
18時11分49秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	学校体育施設開放実施日数	日	目標値	19,257.00	19,317.00	19,264.00
			実績値	18,010.00	17,405.00	
			達成度(%)	93.50	90.10	
目標値の積算方法	学校体育施設開放日数 (昼)土・日・祝・長期休業×実施校数+ (夜)実施可能日×6割×実施校数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.69	2.05	
			一般財源(千円)	1.69	2.05	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	学校体育施設開放参加者数	人	目標値	522,080.00	516,970.00	513,054.00
			実績値	468,343.00	443,319.00	
			達成度(%)	89.70	85.80	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.06	0.08	
			一般財源(千円)	0.06	0.08	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	889.27	1,043.36	
			一般財源(千円)	889.27	1,043.36	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由:身近な学校体育施設を利用したこの事業は、市民の体育・スポーツ活動への参加を促進していくために必要な経費であると考えます。)</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標①の学校体育施設開放実施日数は減少しているとはいえ、9割以上と高い数値を示しています。</p> <p>【今後の方向性】 地域住民の体力づくりや健康の増進を図るうえで非常に重要な施策であり、生涯スポーツ社会の実現に向けて長期に継続していく必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	学校体育施設開放	事業区分	その他
事務事業番号	01702				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている、又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01702
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 学校体育施設は、地域住民誰もが気軽にスポーツに慣れ親しむことができる場となっていることから、妥当性が高いと思われます。</p> <p>(2)有効性 目的の趣旨から受益者負担は求めているため、公平性は低くなっていますが、事業運営を各地区の学校体育施設開放運営委員会に委託することで、効果的な運営ができていると考えられます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
18時44分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01703	中学校運動場ナイター施設開放事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11739	01	02	01	33	03	02	02	中学校運動場ナイター施設開放事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）久堀 有司（2878）				
根拠法令等	スポーツ基本法 第13条 吹田市中学校運動場ナイター施設開放事業実施要領								
事業開始年度	昭和58年度	直近の改正		なし					
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	ナイター施設が設置されている各中学校ごとの地域に在住、在勤、在学している者で構成された団体		
目標	スポーツを行う場所を提供し、スポーツ活動への参加を促します。		
結果	市民、特に勤労者層の体育・スポーツ活動への参加を促進することで、健康の維持、増進を図るとともに、地域スポーツの活性化を図ります。		
事業概要	スポーツに親しむ機会が少ない勤労者等が、身近な場所で仲間とスポーツを楽しむことができるように、中学校運動場ナイター施設を開放しています。事業運営については、中学校ナイター開放運営委員会に委託しており、7中学校で実施していますが、うち2校については、冬期不実施期間があります。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	各中学校ナイター開放運営委員会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	使用調整・管理・運営全般
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,695	4,748	22,193	15,220	16,248
人件費職員数(人)	0.50	0.70	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	5,530	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	9,780	10,278	26,219	19,246	20,221
特定財源(C)	3,490	3,559	3,082	3,534	3,242
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3,490	3,559	3,082	3,534	3,242
市負担(D)	6,290	6,719	23,137	15,712	16,979
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,290	6,719	23,137	15,712	16,979
財源計(C+D)	9,780	10,278	26,219	19,246	20,221

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01703

2頁
平成30年 6月 8日
18時44分08秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ナイター施設開放日数(7校)	回	目標値	1,387.00	1,423.00	1,459.00
			実績値	987.00	961.00	
			達成度(%)	71.20	67.50	
目標値の積算方法	ナイター施設開放可能日数(5校:365日、1校:303日、1校:244日)×0.6	単位当たりコスト	総事業費(千円)	10.41	20.03	
			一般財源(千円)	6.81	16.35	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ナイター施設開放参加者数	人	目標値	28,961.00	28,555.00	27,932.00
			実績値	25,114.00	24,705.00	
			達成度(%)	86.70	86.50	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.41	0.78	
			一般財源(千円)	0.27	0.64	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	300.53	562.75	
			一般財源(千円)	196.46	459.42	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由:身近な学校運動場ナイター施設を利用したこの事業は、市民、特に体を動かす機会が少なくなりがちな勤労者の体育・スポーツ活動への参加を促進し、体力づくりや健康の増進を図るうえで非常に重要な施策であるためです。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、生涯スポーツ社会の実現に向けて長期に継続することが妥当であると考えます。</p>		

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	中学校運動場ナイター施設開放事業	事業区分	その他
事務事業番号	01703				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

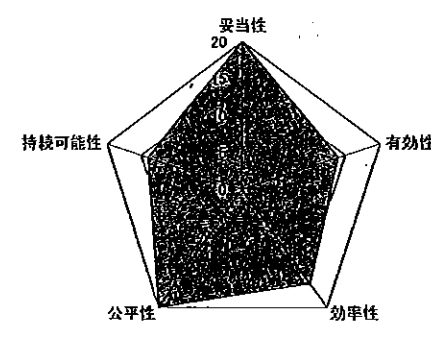
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01703
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 スポーツに親しむ機会が少ない勤労者等が、身近な場所で仲間とスポーツを楽しむきっかけづくりとなっており、事業実施の意義はあると考えます。</p> <p>(3)効率性 事業運営については、各中学校ナイター開放運営委員会に委託することで、効果的な運営ができています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
16時41分32秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01704	千里山武道教室事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11740	01	02	01	33	03	02	03	千里山武道教室事業（スポーツ推進費）
所属長	熟田 徹		担当者（内線）久堀 有司（2878）						
根拠法令等	スポーツ基本法 第13条								
事業開始年度	昭和59年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	スポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促します。		
結果	市民の体育・スポーツ・武道の振興を促進することで、健康の維持、増進を図るとともに、地域スポーツの活性化を図ります。		
事業概要	身近な場所でスポーツになれ親しむため、千里山武道教室運営委員会に委託し、千里山・佐井寺図書館、千里第二小学校及び第一中学校で武道教室を開催しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	千里山武道教室運営委員会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	教室の実施、管理
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	68	45	57	46	46
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	1,702	1,625	1,668	1,657	1,635
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,702	1,625	1,668	1,657	1,635
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,702	1,625	1,668	1,657	1,635
財源計(C+D)	1,702	1,625	1,668	1,657	1,635

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01704

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	千里山武道教室実施回数	回	目標値	209.00	194.00	201.00
			実績値	177.00	176.00	
			達成度(%)	84.70	90.70	
目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.18	9.41	
			一般財源(千円)	9.18	9.41	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	千里山武道教室の延べ参加者数	人	目標値	4,765.00	4,461.00	4,339.00
			実績値	4,007.00	4,319.00	
			達成度(%)	84.10	96.80	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.41	0.38	
			一般財源(千円)	0.41	0.38	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率		目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	47.51	48.45	
			一般財源(千円)	47.51	48.45	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由:身近な場所で武道に親しむ事ができるこの事業は、市民の体力向上や青少年の健全育成に繋がる事業であるためです。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費の分析や指標数値の分析を踏まえ、目標とする効果が出ており事業費も適正であります。実施場所の問題から、実施方法について検討を行いつつ継続することが妥当であります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	千里山武道教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	01704				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		o. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01704
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 当初、武道館建設予定地区として始まった事業であるため、事業の実施意義を検討していく必要があります。</p> <p>(5)持続可能性 事業費は増加していませんが、指導員の確保が難しく教室数が減少していることから持続可能性は、低いと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
17時09分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01705	地域スポーツ指導者養成・研修事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	20	指導者の養成・確保と資質の向上			
予算事業	11741	01	02	01 33 03 03 01	地域スポーツ指導者養成・研修事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）宮脇 淳（2674）		
根拠法令等	スポーツ基本法第11条				
事業開始年度	昭和49年	直近の改正	なし		
改正内容					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市スポーツ推進委員、吹田市社会体育リーダー等の指導者		
目標	地域スポーツ指導者・高齢者スポーツ指導者の養成及び資質の向上を図ります。		
結果	地域スポーツ指導者の資質の向上により、より安全できめ細かなプログラムの提供ができ、身近な場所でのスポーツ活動への参加を促進することができます。		
事業概要	地域スポーツの推進を図るため、住民への指導や助言、企画立案を行う社会体育リーダーを養成するとともに、事業の実施に係る連絡調整、実技指導、スポーツに関する指導助言を行うスポーツ推進委員と社会体育リーダーの資質の向上を目的として各種研修会を実施しています。 また、高齢者スポーツの指導者に対し、指導力、実践力の向上を目指した講習会を実施しています。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
	□ 補助金・負担金	委託先③	
		主な委託内容	
交付先①			
□ その他	交付先②		
	交付先③		
	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,304	2,081	1,494	1,181	1,718
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	6,389	6,031	5,520	5,207	5,691
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	6,389	6,031	5,520	5,207	5,691
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,389	6,031	5,520	5,207	5,691
財源計(C+D)	6,389	6,031	5,520	5,207	5,691

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01705

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域スポーツ指導者養成講座の受講者数	人	目標値	125.00	115.00	113.00
			実績値	73.00	104.00	
			達成度(%)	58.40	90.40	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	82.62	50.07	
			一般財源(千円)	82.62	50.07	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域スポーツ指導者研修会の開催数	回	目標値	41.00	34.00	31.00
			実績値	34.00	31.00	
			達成度(%)	82.90	91.20	
目標値の積算方法	必要開催数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	177.38	167.97	
			一般財源(千円)	177.38	167.97	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20から69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	176.35	152.25	
			一般財源(千円)	176.35	152.25	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切です。(地域住民のニーズに応じたプログラムを提供していくため、地域における、体育・スポーツ活動の実践的指導・助言にあたる指導者の養成と資質の向上を目的とした研修会を実施する必要があるためです。)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当ですが改善の余地があります。事業成果の目標を達成するためには、講座や研修会に受講しやすい時間帯や会場等を提供する必要があります。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、継続すべきです。また併せて講座・研修内容の見直しの検討も必要です。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	地域スポーツ指導者養成・研修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01705				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	76	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01705
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域スポーツの推進を図るためには、地域スポーツ指導者の資質の向上や、地域でのきめ細かなプログラムを提供することが必要であり、本事業は地域スポーツを考える際、妥当な事業であると考えます。</p> <p>地域スポーツ指導者も高齢化しており、体力的にも厳しい状況の場合もあるため、若い指導者の養成と育成が必要とされています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
15時45分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01706	競技スポーツ指導者養成・研修事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	20	指導者の養成・確保と資質の向上			
予算事業	11742	01	02	01 33 03 03 02	競技スポーツ指導者養成・研修事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）久堀 有司（2878）		
根拠法令等	スポーツ基本法第11条				
事業開始年度	昭和55年度	直近の改正	なし		
改正内容					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	競技スポーツ指導者		
目標	競技スポーツ指導者の養成及び研修を実施することにより、技術の向上だけでなく、安全対策やトレーニング方法などあらゆる角度から指導者としての資質向上を図ります。		
結果	競技スポーツ指導者の資質向上により、安全できめ細かなプログラムを提供することができ、市民自身の目的や体力に応じたスポーツ活動に取り組むことができます。		
事業概要	各競技スポーツの指導者を養成・確保するため、吹田市体育協会に委託して、実技養成講座やスポーツ理論を含めた共通講義、また各種研修会を実施しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市体育協会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	競技スポーツ指導者養成事業の企画運営等
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,001	519	547	546	774
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	2,013	1,987
総事業費(A+B)	3,044	2,494	2,560	2,559	2,761
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,044	2,494	2,560	2,559	2,761
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,044	2,494	2,560	2,559	2,761
財源計(G+D)	3,044	2,494	2,560	2,559	2,761

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01706

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スポーツ指導員の認定者数	人	目標値	51.00	36.00	27.00
			実績値	25.00	29.00	
			達成度(%)	49.00	80.60	
目標値の積算方法	過去3年間の平均認定者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	99.76	88.24	
			一般財源(千円)	99.76	88.24	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スポーツ指導員の研修会参加者数	人	目標値	864.00	856.00	797.00
			実績値	756.00	610.00	
			達成度(%)	87.50	71.30	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.30	4.20	
			一般財源(千円)	3.30	4.20	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~60歳)の週1回以上のスポーツ実施率	人	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	72.92	74.82	
			一般財源(千円)	72.92	74.82	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由:生涯スポーツの推進ために、各競技スポーツ指導員を養成することは行政が担うべき事業であると考えます。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、市民が安心して様々なスポーツプログラムに参加できるよう、各競技団体と協力しながら、指導者の養成及び資質の向上を図っていくことは重要な施策であり、将来的な展望を持ち計画的に取り組んでいく必要があるため、継続することが妥当であると考えます。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	競技スポーツ指導者養成・研修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01706				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01706
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、類似事業がないため、比較、分析することができないと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 各種競技スポーツの指導者を養成し、指導員の資質向上を目的とした研修会等を開催することで、市民に様々なプログラムを提供することができており、事業実施の意義はあると考えます。</p> <p>(5)持続可能性 今後は、さらに多くの種目において指導者の養成と、資質向上を図り、高齢化による指導者不足を解消する取組みをしていく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
17時15分40秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01707	社会体育関係団体育成事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	03	スポーツに親しめるまちづくり		
細節	30	スポーツ関係団体の育成		
予算事業	11743	01	02	01 33 03 04 01 社会体育関係団体育成事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）浅田 真美（2878）	
根拠法令等	スポーツ基本法第34条			
事業開始年度	昭和43年度	直近の改正	なし	
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市スポーツ推進委員会、吹田市社会体育リーダー協議会、吹田市体育協会		
目標	各社会体育団体の育成及び組織強化を行うことにより生涯スポーツを推進します。		
結果	指導者の資質向上により、安全できめ細やかなスポーツプログラムの提供ができ、市民ニーズに対応することができます。		
事業概要	多種多様なスポーツ種目が普及しつつある中、市民ニーズに応えたきめ細やかなスポーツプログラムを提供していくため、社会体育関係団体の育成を図ります。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市スポーツ推進委員会
		委託先②	吹田市社会体育リーダー協議会
		委託先③	吹田市体育協会
		主な委託内容	団体の指導者研修
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	285	175	179	175	179
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	2,013	1,589
総事業費(A+B)	2,328	2,150	2,192	2,188	1,768
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,328	2,150	2,192	2,188	1,768
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,328	2,150	2,192	2,188	1,768
財源計(C+D)	2,328	2,150	2,192	2,188	1,768

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01707

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	社会体育団体研修会の開催数	回	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	主要社会体育団体の数 吹田市スポーツ推進委員会・吹田市社会体育リーダー協議会、吹田市体育協会	単位当たりコスト	総事業費(千円)	716.67	729.33	
			一般財源(千円)	716.67	729.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	社会体育団体研修会の参加者数	人	目標値	206.80	208.60	216.00
			実績値	194.00	206.00	
			達成度(%)	93.80	98.80	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.08	10.62	
			一般財源(千円)	11.08	10.62	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	62.87	63.98	
			一般財源(千円)	62.87	63.98	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正であると考えます。(理由:指導者の資質向上のために必要な経費であると考えます。)</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標②の社会体育団体研修会の参加者数が増加し、目標値に近づき達成度が上がっています。</p> <p>【今後の方向性】 生涯スポーツを推進していくためには、各社会体育団体の育成及び組織強化は必要不可欠であるため、今後も事業を継続していく必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	社会体育関係団体育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01707				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

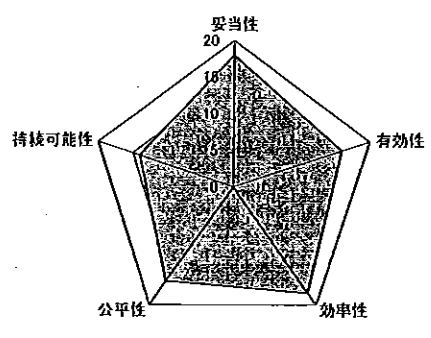
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01707
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、他市と比較できる事業がないため比較分析ができないと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 各社会体育関係団体が自らの役割を担っていくために必要な研修会を実施し、指導者の資質向上を図ることは、スポーツ振興のために必要であるため市が関与すべき事業であると考えられます。 常に時代の流れを視野に入れた研修内容になるように各団体と調整し、多種多様な市民ニーズに応えられる内容の研修会となる必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
19時58分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01708	スポーツグラウンド管理事業								
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり								
節	03	スポーツに親しめるまちづくり								
細節	10	体育・スポーツ施設の整備								
予算事業	11744	01	02	01	34	01	01	01	01	スポーツグラウンド管理事業（体育施設管理費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）松本（2873）					
根拠法令等	吹田市立スポーツグラウンド条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条									
事業開始年度	昭和39年度	直近の改正		平成28年度						
改正内容	組織改正、使用料改定による									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）									

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	スポーツグラウンド（野球・テニス等）利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、スポーツグラウンドの利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。		
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、スポーツグラウンド（5か所）の維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	スポーツテクノ和広・吹田市体育協会グループ
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	スポーツグラウンドの管理・運営
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	92,713	92,093	91,466	91,369	90,431
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.20	0.20	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	1,611	1,611	2,384
総事業費(A+B)	95,164	94,463	93,077	92,980	92,815
特定財源(C)	28,078	24,825	28,164	24,710	28,482
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	28,078	24,825	28,164	24,710	28,482
市負担(D)	67,086	69,638	64,913	68,270	64,333
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	67,086	69,638	64,913	68,270	64,333
財源計(C+D)	95,164	94,463	93,077	92,980	92,815

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01708

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スポーツグラウンド利用人数		目標値	268,807.00	269,748.00	264,694.00
			実績値	234,536.00	238,612.00	
			達成度(%)	87.30	88.50	
目標値の積算方法	過去3年間の実績人数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.40	0.39	
			一般財源(千円)	0.30	0.29	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スポーツグラウンドの利用率 (利用時間合計/利用可能時間合計 × 100)		目標値	66.90	65.80	65.30
			実績値	64.40	65.40	
			達成度(%)	96.30	99.40	
目標値の積算方法	過去3年間の利用率平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,466.82	1,421.71	
			一般財源(千円)	1,081.34	1,043.88	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率とします。		目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,762.08	2,718.71	
			一般財源(千円)	2,036.20	1,996.20	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>野球やテニス、スポーツ教室、大会だけではなく、中の島、桃山台スポーツグラウンドでは、利用率を上げるため、サッカー等の空き申込を行い、有効活用を図っています。</p> <p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に安心・安全に利用してもらえるスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>		

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツグラウンド管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01708				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01708
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民のスポーツ・レクリエーションの場として、4施設のテニスコート及び野球場を開放しており、多くの市民に利用されています。 中の島スポーツグラウンド野球場は、サッカーコート(冬期限定)、グラウンドゴルフ場(平日)としての利用や、野球以外の種目の専用使用や教室、大会の開催等、有効に利用されています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
19時53分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	01709	スポーツグラウンド改修事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	10	体育・スポーツ施設の整備			
予算事業	11745	01	02	01 34 01 02 01	スポーツグラウンド改修事業（体育施設管理費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）松本（2837）		
根拠法令等	吹田市立スポーツグラウンド条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条				
事業開始年度	昭和39年度	直近の改正	平成28年度		
改正内容	組織改正、使用料改定による				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

＜事業分析＞

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	スポーツグラウンド（野球・テニス等利用者）		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、スポーツグラウンド利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の安全性・快適性が確保されます。		
事業概要	スポーツグラウンドにおいて、計画的に改修工事を行います。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

＜事業費＞

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	32,232	28,231	38,134	20,293	5,646
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	33,049	29,021	38,940	21,099	6,441
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	33,049	29,021	38,940	21,099	6,441
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,049	29,021	38,940	21,099	6,441
財源計(C+D)	33,049	29,021	38,940	21,099	6,441

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01709

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	山田スポーツグラウンド管理棟屋根、外壁改修工事	目標	工事期間(平成30年1月19日~3月23日)内で改修工事を行います。
成果内容	滞りなく改修工事が完了しました。	達成状況	期間内で改修工事が完了しました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	全スポーツ施設において、老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後、大規模な改修や整備が必要なため、長期修繕計画に基づき計画的に行う必要があります。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツグラウンド改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01709				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01709
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各スポーツグラウンドにおいて、老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。平成29年度は山田スポーツグラウンドの管理棟及び外壁改修工事を行いました。今後も大規模な改修や整備が必要なため、長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
18時18分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01710	運動広場等管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11746	01	02	01	34	02	01	01	運動場広場等管理事業（体育施設管理費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）大村（2675）				
根拠法令等	スポーツ基本法第12条								
事業開始年度	昭和54年度		直近の改正						
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	運動広場利用者			
目標	市民の健康の保持・増進を図るとともに、地域住民のコミュニティの場を提供します。			
結果	市民の体力向上及び健康・増進が図れます。			
事業概要	市の遊休地（青山台、藤白台）2か所と府からの借用地（新御堂、春日）2か所を利用し、土地の利用が決定するまでの間、地域の市民にスポーツ・レクリエーション及び憩いの場を提供します。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
交付先②				
交付先③				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	地域（藤白台連合自治協議会等）へ運営・管理を依頼しています。		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	235	428	235	231	236
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,869	1,218	1,041	1,037	1,031
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,869	1,218	1,041	1,037	1,031
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,869	1,218	1,041	1,037	1,031
財源計(C+D)	1,869	1,218	1,041	1,037	1,031

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01710

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動	目標	地域による自主的な運営のため、数値目標は設定していません。
成果内容	地域の自主管理のもと、スポーツ・レクリエーション活動を行います。	達成状況	実績数等は不明です。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	暫定的な遊休地利用として、地域住民のスポーツの機会の創出だけでなく、地域住民の憩いの場としても活用されています。 事業費は適切であります。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動広場等管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01710				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	10	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	8	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点		
(4) 公平性 (20点)	8	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	52	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01710
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共用地の利用が決定されるまでの間、暫定的に運動広場として整備し、地域住民のスポーツ活動及び憩いの場として活用されています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

青山台及び藤白台運動広場は公共施設最適化計画の動向により使用できなくなることがあります。
 大阪府からの借用地である新御堂及び春日運動広場は、新御堂筋及び地下鉄等の橋脚耐震補強工事により、使用が一部制限されることがあります。
 今後、修繕及び高木剪定等による予算計上が必要となります。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
18時47分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01711	片山市民体育館管理事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	03	スポーツに親しめるまちづくり		
細節	10	体育・スポーツ施設の整備		
予算事業	11747	01	02	01 35 01 01 01 片山市民体育館管理事業（市民体育館費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）大村（2675）	
根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条			
事業開始年度	昭和47年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	組織改正、使用料改定による			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	市民体育館利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進を図られます。		
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、片山市民体育館の維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	片山市民体育館の管理・運営
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	99,094	99,623	99,185	98,128	101,639
人件費職員数(人)	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	1,580	806	806	795
総事業費(A+B)	99,911	101,203	99,991	98,934	102,434
特定財源(C)	17,617	18,066	18,735	18,018	18,065
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	17,617	18,066	18,735	18,018	18,065
市負担(D)	82,294	83,137	81,256	80,916	84,369
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	82,294	83,137	81,256	80,916	84,369
財源計(C+D)	99,911	101,203	99,991	98,934	102,434

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01711

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	片山市民体育館の利用人数	人	目標値	146,196.00	149,871.00	151,998.00
			実績値	139,164.00	141,913.00	
			達成度(%)	95.20	94.70	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.73	0.70	
			一般財源(千円)	0.60	0.57	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率とします。	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,959.15	2,892.81	
			一般財源(千円)	2,430.91	2,365.96	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p> <p>事業費は適切であります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	片山市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01711				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01711
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度に行った使用料改定及びトレーニング室個人使用の時間制への変更により、個人使用者数が増加し、市民サービスや利便性の向上に繋がっています。今年度、指定管理者の公募を行い、平成30年度より、吹田市体育協会・ミズノグループが管理運営を行います。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
18時24分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01712	北千里市民体育館管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11748	01	02	01	35	01	02	01	北千里市民体育館管理事業（市民体育館費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）大村（2675）						
根拠法令等	吹田市市民体育館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条								
事業開始年度	昭和55年度		直近の改正		平成28年度				
改正内容	組織改正、使用料改定による								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民体育館利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。		
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、北千里市民体育館の維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	北千里市民体育館の管理・運営
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	79,576	79,462	79,087	80,989	78,253
人件費職員数(人)	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	1,580	806	806	795
総事業費(A+B)	80,393	81,042	79,893	81,795	79,048
特定財源(C)	18,057	18,719	19,145	18,282	18,700
国	154	171	154	172	159
府	77	85	77	86	79
その他	17,826	18,463	18,914	18,024	18,462
市負担(D)	62,336	62,323	60,748	63,513	60,348
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	62,336	62,323	60,748	63,513	60,348
財源計(C+D)	80,393	81,042	79,893	81,795	79,048

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01712

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	北千里市民体育館利用者人数	人	目標値	125,982.00	129,334.00	129,256.00
			実績値	119,902.00	111,839.00	
			達成度(%)	95.20	86.50	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.68	0.73	
			一般財源(千円)	0.52	0.57	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツの実施率とします。	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,369.65	2,391.67	
			一般財源(千円)	1,822.31	1,857.11	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催しています。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p> <p>事業費は適切であります。</p>		

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	北千里市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01712				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

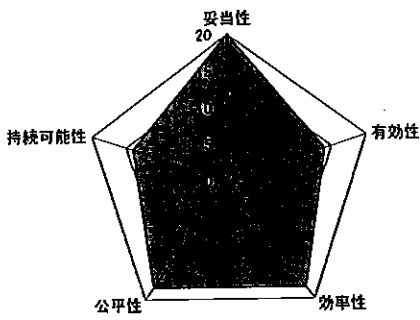
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01712
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度に行った使用料改定及びトレーニング室個人使用の時間制への変更により、市民サービスや利便性の向上に繋がっています。今年度、指定管理者の公募を行い、平成30年度より、吹田市体育協会・ミズノグループが管理運営を行います。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
18時51分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01713	山田市民体育館管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11749	01	02	01	35	01	03	01	山田市民体育館管理事業（市民体育館費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）大村（2675）						
根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条								
事業開始年度	昭和61年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	組織改正、使用料改定による								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民体育館利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。		
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、山田市民体育館の維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	山田市民体育館の管理・運営
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	85,515	83,680	85,468	83,388	82,692
人件費職員数(人)	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	1,580	806	806	795
総事業費(A+B)	86,332	85,260	86,274	84,194	83,487
特定財源(C)	19,840	19,797	19,657	19,499	19,796
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	19,840	19,797	19,657	19,499	19,796
市負担(D)	66,492	65,463	66,617	64,695	63,691
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	66,492	65,463	66,617	64,695	63,691
財源計(C+D)	86,332	85,260	86,274	84,194	83,487

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01713

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	山田市民体育館の利用人数	人	目標値	177,119.00	179,321.00	180,523.00
			実績値	163,741.00	165,405.00	
			達成度(%)	92.40	92.20	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.52	0.51	
			一般財源(千円)	0.40	0.39	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率とします。	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,492.98	2,461.81	
			一般財源(千円)	1,914.12	1,891.67	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。 今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。 事業費は適切であります。</p>		

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	山田市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01713				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01713
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度に行った使用料改定及びトレーニング室個人使用の時間制への変更により、個人使用者数が増加し、市民サービスや利便性の向上に繋がっています。今年度、指定管理者の公募を行い、平成30年度より、吹田市体育協会・ミズノグループが管理運営を行います。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
18時53分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01714	南吹田市民体育館管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11751	01	02	01	35	01	04	01	南吹田市民体育館管理事業（市民体育館費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）大村（2675）				
根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条								
事業開始年度	平成2年度	直近の改正		平成28年度					
改正内容	組織改正、使用料改定による								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民体育館利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。		
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、南吹田市民体育館の維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	南吹田市民体育館の管理・運営
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	68,479	67,311	70,646	71,419	75,351
人件費職員数(人)	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	1,580	806	806	795
総事業費(A+B)	69,296	68,891	71,452	72,225	76,146
特定財源(C)	12,056	13,857	13,710	13,914	16,413
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	12,056	13,857	13,710	13,914	16,413
市負担(D)	57,240	55,034	57,742	58,311	59,733
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	57,240	55,034	57,742	58,311	57,176
財源計(C+D)	69,296	68,891	71,452	72,225	76,146

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01714

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	南吹田市市民体育館の利用人数	人	目標値	86,208.00	90,284.00	95,305.00
			実績値	88,125.00	91,295.00	
			達成度(%)	102.20	101.10	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.78	0.79	
			一般財源(千円)	0.62	0.64	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率とします。	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,014.36	2,111.84	
			一般財源(千円)	1,609.18	1,705.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p> <p>事業費は適切であります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	南吹田市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01714				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01714
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度に行った使用料改定及びトレーニング室個人使用の時間制への変更により、個人使用者数が増加し、市民サービスや利便性の向上に繋がっています。今年度、指定管理者の公募を行い、平成30年度より、吹田市体育協会・ミズノグループが管理運営を行います。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
10時48分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01715	目依市民体育館管理事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	10	体育・スポーツ施設の整備			
予算事業	11752	01	02	01 35 01 05 01	目依市民体育館管理事業（市民体育館費）
所属長	熱田 徹	担当者（内線）大村（2675）			
根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条				
事業開始年度	平成9年度	直近の改正	平成28年度		
改正内容	組織改正、使用料改定による				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	市民体育館利用者			
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います			
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。			
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、目依市民体育館の維持管理・運営を行います。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス	
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	目依市民体育館の管理・運営	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	136,110	136,729	135,220	135,062	129,448
人件費職員数(人)	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	1,580	806	806	795
総事業費(A+B)	136,927	138,309	136,026	135,868	130,243
特定財源(C)	21,964	23,677	23,625	23,317	26,233
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	21,964	23,677	23,625	23,317	26,233
市負担(D)	114,963	114,632	112,401	112,551	104,010
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	2,557
一般財源	114,963	114,632	112,401	112,551	101,453
財源計(C+D)	136,927	138,309	136,026	135,868	130,243

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01715

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	目録市民体育館利用人数	人	目標値	164,188.00	167,504.00	169,040.00
			実績値	155,130.00	156,635.00	
			達成度(%)	94.50	93.50	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.89	0.87	
			一般財源(千円)	0.74	0.72	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率とします。	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,044.12	3,972.75	
			一般財源(千円)	3,351.81	3,290.96	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p> <p>事業費は適切であります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	目録市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01715				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞り等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01715
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度に行った使用料改定及びトレーニング室個人使用の時間制への変更により、個人使用者数が増加し、市民サービスや利便性の向上に繋がっています。今年度、指定管理者を公募を行い、平成30年度より、吹田市体育協会・ミズノグループが管理運営を行います。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
19時49分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01716	市民プール管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11753	01	02	01	36	01	01	01	市民プール管理事業（市民プール費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）松本（2873）				
根拠法令等	吹田市民プール条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条								
事業開始年度	昭和37年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	組織改正、使用料改定による								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民プール利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民プール利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。		
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、室内（通年）及び、夏期（7～8月）開設の片山市民プール、夏期（7～8月）のみ開設の北千里市民プールの維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	コナミスポーツ・南海ビルサービス
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	市民プールの管理・運営
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	295,364	284,199	259,917	259,736	176,521
人件費職員数(人)	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	298,632	286,569	262,333	262,152	178,905
特定財源(C)	45,709	50,681	50,423	43,851	50,680
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	45,709	50,681	50,423	43,851	50,680
市負担(D)	252,923	235,888	211,910	218,301	128,225
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	252,923	235,888	211,910	218,301	128,225
財源計(C+D)	298,632	286,569	262,333	262,152	178,905

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01716

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民プール利用人数		目標値	310,182.00	304,684.00	330,354.00
			実績値	283,200.00	328,656.00	
			達成度(%)	91.30	107.90	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.01	0.80	
			一般財源(千円)	0.83	0.66	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率とします。		目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8,379.21	7,665.26	
			一般財源(千円)	6,897.31	6,383.07	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	夏期プール、室内プールともに、低廉なレジャー施設、健康づくりや生涯スポーツの振興の場として家族連れや子どもを中心に幅広い層に利用されています。 幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に安心・安全に利用してもらえるスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民プール管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01716				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況を分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01716
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>一年中利用できる片山市民プールは市民のレクリエーション、スポーツの増進場として活用されています。 北千里市民プール(屋外)とともに、市民が安心、安全に利用できるよう施設の充実に努めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
18時57分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01717	武道館管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	10	体育・スポーツ施設の整備							
予算事業	11755	01	02	01	37	01	01	01	武道館管理事業（武道館費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）大村（2675）				
根拠法令等	吹田市立武道館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条								
事業開始年度	平成5年度	直近の改正			平成28年度				
改正内容	組織改正、使用料改定による								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	武道館利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、武道館利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。		
事業概要	多くの市民に武道やスポーツの場を提供するため、武道館の維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	武道館の管理・運営
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	96,194	95,933	95,323	94,989	97,803
人件費職員数(人)	0.40	0.30	0.20	0.20	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	2,370	1,611	1,611	2,384
総事業費(A+B)	99,462	98,303	96,934	96,600	100,187
特定財源(C)	12,556	11,682	11,702	11,619	14,210
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	12,556	11,682	11,702	11,619	14,210
市負担(D)	86,906	86,621	85,232	84,981	85,977
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	2,528
一般財源	86,906	86,621	85,232	84,981	83,449
財源計(C+D)	99,462	98,303	96,934	96,600	100,187

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01717

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	武道館利用人数	人	目標値	106,213.00	108,862.00	109,365.00
			実績値	99,286.00	100,091.00	
			達成度(%)	93.50	91.90	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.99	0.97	
			一般財源(千円)	0.87	0.85	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツの実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,874.36	2,824.56	
			一般財源(千円)	2,532.78	2,484.82	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>武道の専門的な施設として、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民に使用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や武道大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>今後も、安心・安全な武道の場を提供し、武道の普及や生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。事業費は適切であります。</p>

事務事業分析シート

2018/6/818:46

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	武道館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01717				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(6点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 o. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01717
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p> <p>効率性については、現在、午後1時～5時となっている個人使用の区分について、検討の余地があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時52分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01718	総合運動場管理事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	10	体育・スポーツ施設の整備			
予算事業	11757	01	02	01 38 01 01 01	総合運動場管理事業（総合運動場費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）大村（2675）		
根拠法令等	吹田市立総合運動場条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条				
事業開始年度	平成6年度	直近の改正	平成28年度		
改正内容	組織改正、使用料改定による				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	総合運動場利用者		
目標	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、総合運動場利用者が安全・快適に使用できるよう維持・管理を行います。		
結果	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られます。		
事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、総合運動場の維持管理・運営を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	総合運動場の管理・運営
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	95,984	96,396	91,289	90,758	94,726
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.30	0.30	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	2,416	2,416	5,562
総事業費(A+B)	99,252	99,556	93,705	93,174	100,288
特定財源(C)	5,855	6,632	6,714	7,360	9,250
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	5,855	6,632	6,714	7,360	9,250
市負担(D)	93,397	92,924	86,991	85,814	91,038
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	93,397	92,924	86,991	85,814	88,420
財源計(C+D)	99,252	99,556	93,705	93,174	100,288

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01718

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	総合運動場利用人数	人	目標値	120,437.00	124,611.00	124,726.00
			実績値	116,804.00	113,729.00	
			達成度(%)	97.00	91.30	
目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.85	0.82	
			一般財源(千円)	0.80	0.75	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率とします。	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,910.99	2,724.39	
			一般財源(千円)	2,717.08	2,509.18	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	平成6年に供用を開始し、第4種公認陸上競技場として陸上競技の普及に努めるとともに、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ等、各種スポーツ教室や大会を開催し、小学生から高齢者まで幅広い層に利用されています。 現在、フィールド、トラックの状態が悪く、改修の時期にきていることから、平成30年度から全面改修に向けて計画的に進めていきます。 事業費は適切であります。

事務事業分析シート

2018/6/119:02

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	総合運動場管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01718				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01718
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>第4種公認陸上競技場として、陸上競技大会や教室の実施、またフィールドではサッカーやラグビー、グラウンドゴルフ等、広く市民の方に利用されています。平成28年度からの料金改定にともないトラック、トレーニング室の個人使用において、市民サービスや利便性の向上を図り、一旦、利用の増加に繋がりましたが、今年度は全体的な利用者数が減少としました。 今後、トラック、フィールド部分の全面改修を計画的に進めていく中で、利用者の増加に繋がれるように模索していきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月26日
10時13分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01719	サッカースタジアム管理事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	10	体育・スポーツ施設の整備			
予算事業	11758	01	02	01 39 01 01 01	サッカースタジアム管理事業（サッカースタジアム費）
所属長	熱田 徹		担当者（内線）村尾 佳世（2263）		
根拠法令等	市立吹田サッカースタジアム条例、同条例施行規則 スポーツ基本法第12条				
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市立吹田サッカースタジアム		
目標	プロサッカーの試合その他のスポーツ活動等の催しの用に供することにより、スポーツの推進及び青少年の健全育成並びに市民相互及び地域間の交流が図られるよう、施設の維持管理を行います。		
結果	にぎわい及び活力のあるまちづくりが図られます。		
事業概要	プロサッカーの試合をはじめ、スポーツの推進及び青少年の健全育成ならびに市民及び地域の交流を図ることを目的としたスポーツ活動等へ施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう、スタジアムの維持管理を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社ガンバ大阪
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	スタジアムの管理運営
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	151,414	155,996	151,533	151,179	151,347
人件費職員数(人)	0.90	2.00	0.70	0.70	0.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	7,353	15,800	5,637	5,477	7,151
総事業費(A+B)	158,767	171,796	157,170	156,656	158,498
特定財源(C)	151,297	151,068	151,297	151,068	151,093
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	151,297	151,068	151,297	151,068	151,093
市負担(D)	7,470	20,728	5,873	5,588	7,405
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,470	20,728	5,873	5,588	7,405
財源計(C+D)	158,767	171,796	157,170	156,656	158,498

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01719

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スタジアムの利用件数	件	目標値	895.00	769.00	700.00
			実績値	584.00	512.00	
			達成度(%)	65.30	66.60	
目標値の積算方法	過去3年間までの実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	294.17	305.97	
			一般財源(千円)	35.49	10.91	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スタジアムの利用者数	人	目標値	660,000.00	660,000.00	660,000.00
			実績値	719,276.00	511,542.00	
			達成度(%)	109.00	77.50	
目標値の積算方法	「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく目標数値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.24	0.31	
			一般財源(千円)	0.03	0.01	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：本市は指定管理者に対し一切委託料を支払っておらず、本事業は大阪府への土地賃借料等、スタジアム運営に必要な費用のみの計上・執行となっているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 平成29年度の利用者数は前年度比で見ると大幅な減となりますが、これは平成28年度に「キリンカップサッカー2016」「FIFAクラブワールドカップジャパン2016」といった国際試合や「天皇杯決勝戦」の開催があったことによるものです。</p> <p>【今後の方向性】 国際試合の誘致や市民利用の拡大を図り、多くの方々がスタジアムに來場することにより、吹田市の魅力の発信元となるよう、継続して実施するものです。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	サッカースタジアム管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01719				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01719
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性の③については、市から委託料を払わず、利用料金制の指定管理者制度を使った管理運営を行うという類似事業がないため、比較・分析することができません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 様々な市民のスタジアムへの来場を促し、にぎわい及び活力のあるまちづくりの推進を図るため、プロサッカーの試合以外に、指定管理者が実施する自主事業や市主催事業(ホームタウン推進事業)を行っており、また平成30年1月からは、市民等のスタジアムへの利用促進を図るため、ネーミングライツで得た対価により、スタジアムの利用料金を低減しています(スタジアム利用促進事業)。 今後も、本事業とこれらの事業との連携により、市民利用のさらなる拡大を図っていく必要があり、実施意義は大きいものと考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
17時07分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01720	スポーツ大会参加経費助成事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	40	生涯スポーツの促進							
予算事業	11761	01	02	01	33	03	01	04	スポーツ大会参加経費助成事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）久堀 有司（2878）				
根拠法令等	吹田市スポーツ大会参加助成金交付要綱								
事業開始年度	昭和60年度	直近の改正		平成24年度					
改正内容	助成対象者、助成対象大会を縮小し、宿泊費の助成を廃止しました。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住・在勤・在学で全国大会等に出場する者		
目標	優秀なスポーツ選手が全国規模の大会に参加しやすいよう支援します。		
結果	参加選手の費用負担を軽減、競技スポーツの普及・促進を図ります。		
事業概要	社会体育活動の一環として、国、地方公共団体、又は社会教育関係団体が主催（共催）する全国的な規模のスポーツ大会に、府代表として参加する者等に対して、その経費（交通費）の一部を助成します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		全国規模の大会に参加する選手。	
交付先②		①に掲げる者の介助のために同行する者。	
<input type="checkbox"/> その他	交付先③		
		内容	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	500	314	500	354	410
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	2,134	1,894	2,111	1,965	1,999
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,134	1,894	2,111	1,965	1,999
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,134	1,894	2,111	1,965	1,999
財源計(C+D)	2,134	1,894	2,111	1,965	1,999

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01720

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スポーツ大会参加経費助成金の種目数	種目	目標値	15.00	14.00	16.00
			実績値	15.00	16.00	
			達成度(%)	100.00	114.30	
目標値の積算方法	過去3年間の平均種目数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	126.27	122.81	
			一般財源(千円)	126.27	122.81	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スポーツ大会参加経費助成金の申請者数	人	目標値	77.00	66.00	0.00
			実績値	57.00	36.00	
			達成度(%)	74.00	54.50	
目標値の積算方法	過去3年間の平均申請者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	33.23	54.58	
			一般財源(千円)	33.23	54.58	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	人	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査【4年に1回実施】をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	55.38	57.46	
			一般財源(千円)	55.38	57.46	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の効果】 事業費は、適切であると考えます。(理由:この事業は、大阪府の予選会を経て、全国大会に出場された方に対し、市が一定サポートをしていくためです。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、競技スポーツの普及につながっているため、継続することが妥当であると考えますが、宿泊費補助の廃止の経緯や、交通費補助額の低さ等、事業のあり方について検討する必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ大会参加経費助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01720				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	68	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 助成対象者にとって有意義な事業ではありますが、対象者の範囲や助成額の低さから、実施意義は、低下していると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 3日
11時02分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01721	健康づくり推進事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	03	スポーツに親しめるまちづくり			
細節	40	生涯スポーツの促進			
予算事業	11762	01	02	01 33 03 01 05	健康づくり推進事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹	担当者（内線）浅田 真美（2878）			
根拠法令等	スポーツ基本法第22条・吹田市健康づくり推進事業補助金交付要領				
事業開始年度	昭和61年	直近の改正	平成25年		
改正内容	吹田市健康づくり推進事業補助金交付要領の第14条にて、保存期間10年の明記と第15条に、補助金の適正な執行状況を把握するため調査若しくは、質問させることができる文言を追加。				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市在住・在勤・在学の者（吹田万博国際ふれあいマラソンは、市外も含む）		
目標	スポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促します。		
結果	健康づくり事業に参加することが、今後、自らの体力や年齢に応じたスポーツ活動に参加するきっかけとなり、生涯スポーツの促進につながります。		
事業概要	市民の健康づくりを推進するために、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団が開催する「てくてくハイク」、「スカイクロス&シャトルゴルフ」、「スポーツフェスティバル」、「吹田万博国際ふれあいマラソン」の4事業に対して補助を行ってきましたが、平成30年度から「スカイクロス&シャトルゴルフ」は「ノルディックウォークラリー」へ、「吹田万博国際ふれあいマラソン」は「健康フェスティバル」へと市民誰もが参加できる事業へ変更となります。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,412	14,409	14,058	14,058	15,391
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	16,046	15,989	15,669	15,669	16,980
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	16,046	15,989	15,669	15,669	16,980
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,046	15,989	15,669	15,669	16,980
財源計(C+D)	16,046	15,989	15,669	15,669	16,980

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01721

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	健康づくりフェスティバルの実施回数	回	目標値	4.00	4.00	4.00
			実績値	4.00	4.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,997.25	3,917.25	
			一般財源(千円)	3,997.25	3,917.25	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	健康づくりフェスティバルの参加者数	人	目標値	5,984.00	4,875.00	4,112.00
			実績値	3,091.00	4,007.00	
			達成度(%)	51.70	82.20	
目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.17	3.91	
			一般財源(千円)	5.17	3.91	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	34.20	34.20	
			達成度(%)	68.40	68.40	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)を基に、今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	467.51	458.16	
			一般財源(千円)	467.51	458.16	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切であると考えます。(理由:生涯スポーツの推進という観点からも、市民の方々がいろいろな健康づくり推進事業に参加することは、継続的にスポーツ活動が続けていけるきっかけづくりになっているため必要な経費であると考えます。)</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標②の健康づくりフェスティバルの参加者数が増加し、目標値に近づき達成度が上がっています。</p> <p>【今後の方向性】 各社会体育関係団体協力のもと、低体力者や子ども等、市民が気軽に参加できる健康づくりの場として、事業内容を検討しながら事業に取り組んでいく必要があります。</p>

事務事業分析シート

2018/6/311:00

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	健康づくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01721				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

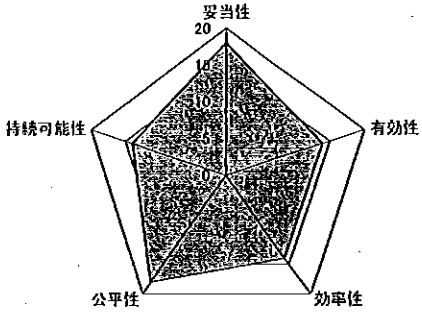
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	78	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01721
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、他市と比較できる事業がないため比較分析ができないと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 健康づくり推進事業を実施することにより、市民誰もが気軽にスポーツに触れ合う機会の提供がされており、市が奨励援助する事業であると考えられます。 健康寿命延伸の観点からも充実した事業となるように、市民ニーズを把握しながら充実していく事業内容となるよう取り組んでいく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月26日
10時14分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005030000	文化スポーツ推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01722	ホームタウン推進事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	03	スポーツに親しめるまちづくり							
細節	00								
予算事業	11785	01	02	01	33	04	01	01	ホームタウン推進事業（スポーツ推進費）
所属長	熱田 徹				担当者（内線）小野 太（2263）				
根拠法令等	パートナーシップ協定書								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正			平成29年度				
改正内容	平成29年7月に株式会社ガンバ大阪とパートナーシップ協定を締結。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	吹田市の新たな魅力であるガンバ大阪を身近に感じてもらい、吹田市をあげてガンバ大阪を応援する機運を盛り上げ、ホームタウン意識や「ガンバ大阪のあるまち」としてのふるさと意識の醸成を図ります。		
結果	「ガンバ大阪のあるまち」として地元への愛着や誇りを育み、活力ある地域社会の形成・発展に寄与します。		
事業概要	スタジアムを活動の場として、ガンバ大阪の協力を得て、パブリックビューイングや市民ふれあい事業を実施し、ホームタウンの意識の醸成を図ります。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,441	1,676	3,303	2,679	57,471
人件費職員数(人)	1.00	0.50	1.00	1.00	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	8,170	3,950	8,052	7,823	11,918
総事業費(A+B)	11,611	5,626	11,355	10,502	69,389
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	11,611	5,626	11,355	10,502	69,389
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,611	5,626	11,355	10,502	57,471
財源計(C+D)	11,611	5,626	11,355	10,502	11,918
					69,389

所属	文化スポーツ推進室
事務事業番号	01722

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民ふれあい事業への参加小学校数	校	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	20.00	22.00	
			達成度(%)	55.60	61.10	
目標値の積算方法	市立小学校数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	281.30	477.36	
			一般財源(千円)	281.30	477.36	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市立吹田サッカースタジアムの年間利用者数(Ｊリーグ等プロの試合の観客数は除く)	人	目標値	60,000.00	60,000.00	60,000.00
			実績値	44,071.00	40,478.00	
			達成度(%)	73.50	67.50	
目標値の積算方法	「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく目標値の1割	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.13	0.26	
			一般財源(千円)	0.13	0.26	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	スタジアムを活動の場として、ガンバ大阪の協力を得て、パブリックビューイングや市民ふれあい事業を実施しました。	目標	ホームタウンの意識の醸成
成果内容	パブリックビューイングの参加者数：1,500人 市民ふれあい事業の参加校及び参加人数：22校、2,032人	達成状況	意識の醸成は数値化できませんが、アンケートによると、参加市民の満足度も高くガンバ大阪の試合観戦希望の声も多くあります。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 平成29年度は、予定していた規模の事業実施ができませんでしたが、平成30年度からは、ネーミングライツの対価を充当し事業を拡充していきます。</p> <p>【今後の方向性】 これまで、ガンバ大阪やサッカーに親しみがなかった市民が、気軽に参加しスタジアムやガンバ大阪に触れ合うことができる事業を実施することで、入場してピッチを見るだけで驚きや感動を市民の心に残し、国内では1番臨場感のあるスタジアムであるとの評価を実感していただくことができました。 今後は、吹田市の小学生は卒業するまでに1度はスタジアムのピッチでガンバ大阪とサッカーをするということを目指し、事業の中身を精査し、全校参加を目指します。</p>

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ホームタウン推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01722				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01722
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 スタジアムを活用し、子どもたちの記憶に残るイベントや、市内全域でガンバ大阪を応援することで、スポーツ推進や地域の活性化につながるような催しを実施し、ガンバ大阪のホームタウン意識の醸成を図ることに貢献しており、市民ニーズの高い事業となっています。 今後はガンバ大阪をはじめ、後援会などの関係団体との連携をさらに深め、「ガンバ大阪のあるまち」としての市の魅力を高めることが求められています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調査

事務事業名	スタジアム利用促進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成29年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	市立吹田サッカースタジアム条例、同条例施行規則 市立吹田サッカースタジアムにおける利用料金低減負担金に関する協定書													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
(6) 目的	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他										
	対象(誰を、何を)	範囲等	スタジアム利用者											
	目標(どういう状態にしたいのか)	本市と指定管理者である株式会社ガンバ大阪が協力し、スタジアムにおける市民の利用、国際試合等の開催の促進を図ります。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	にぎわい及び活力のあるまちづくりが図られます。												
(7) 事業概要	市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価を積み立てたスポーツ推進基金から本事業へ充当し、スタジアムの利用料金を低減することで、市民等のスタジアムへの利用を促進します。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	39	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	27,000	27,000	108,000							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.20						
		総額(B)	千円	0	0	2,700	2,700	21,600						
	総事業費(A+B)		0	0	29,700	29,700	129,600							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		0	0	27,000	27,000	108,000						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	27,000	27,000	108,000						
	一般財源		0	0	0	0	0							
財源計(C+D)		0	0	27,000	27,000	108,000								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
		主な委託内容	②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
内容		②												
<input type="checkbox"/> その他	内容	③												

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	スタジアムの利用者数	目標値 (単位:人)	660,000.00	660,000.00	/
			実績値 (単位:人)	719,276.00	511,542.00		
		達成度(%)		109.00%	77.50%		
	目標値の積算方法	「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく目標数値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.04	0.06	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値 (単位:件(延べ))	0.00	0.00	/	
実績値 (単位:件(延べ))			0.00	0.00			
達成度(%)		0.00	0.00				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	スタジアムの利用者数(営利除く)	目標値 (単位:人)	60,000.00	60,000.00	/
			実績値 (単位:人)	44,071.00	40,478.00		
		達成度(%)		73.50%	67.50%		
	目標値の積算方法	「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく目標数値の1割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.67	0.73	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/	
実績値 (単位:)			0.00	0.00			
達成度(%)		0.00	0.00				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標			
	②	成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:本事業は、スタジアムの利用料金が高額であることから、その低減を行い、スタジアムにおける市民の利用、国際試合等開催の促進を図ることを目的としています。平成30年1月に開始したところであるため、利用料低減の効果について今後さらに検証していく必要がありますが、営利を除く利用者数は、前年度比では増加しており、事業費としては適切であると考えています。)</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スタジアム利用促進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01799				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。	内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③適正な受益者負担を求めていますか。	内部管理	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01799
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性の③については、本事業を実施している類似団体がないため、比較・分析することができません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 スタジアムの利用料金を低減することにより、市民利用を促進する点で、本事業の実施意義は大きいものと考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツ推進基金積立事業			
担当部署	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名 熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成29年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市積立基金条例						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり) 一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
			節				
			03				
			細節				
			10				
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他 範囲等 市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価				
	目標(どういう状態にしたいのか)	スポーツ推進基金に積み立てます。					
	結果(どのような効果を得られるのか)	市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価を活用することにより、スポーツの推進やまちの活性化を図り、市の魅力を向上します。					
(7) 事業概要	市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価をスタジアムの利用促進やガンバ大阪のホームタウン関連施策の推進、また、スタジアムや市立スポーツ施設とその環境の充実等を図る費用に充当するため積み立てます。						
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款				
			02				
			項				
			01				
			目				
			42				
			大事業				
			01				
			中事業				
			01				
			小事業				
			01				
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	54,000	54,000	216,000
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10
		総額(B)	千円	0	0	5,400	5,400
	総事業費(A+B)		0	0	59,400	59,400	237,600
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	54,000	54,000	216,000
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	54,000	54,000
一般財源		0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	54,000	54,000	216,000	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
		主な委託内容	②				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
			②				
<input type="checkbox"/> その他	内容	③					

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 ネーミングライツで得た対価を全額積み立てます。	目標値 (単位:千円)	0.00	54,000,000.00	216,000,000.00	
		実績値 (単位:千円)	0.00	54,000,000.00		
		達成度(%)	0.00%	100.00%		
	目標値の積算方法 市立吹田サッカースタジアム ネーミングライツ基本協定書に基づくネーミングライツ料	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	② 指標内容	目標値 (単位:件(延べ))	0.00	0.00	0.00	
		実績値 (単位:件(延べ))	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	① 指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	② 指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) のが困難な場合	① 活動内容		目標			
	② 成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:市立吹田サッカースタジアム ネーミングライツ基本協定書に基づき、ネーミングライツ料をスポーツ推進基金に積み立てることにより、様々な事業に活用することができるため。)				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ推進基金積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01800				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

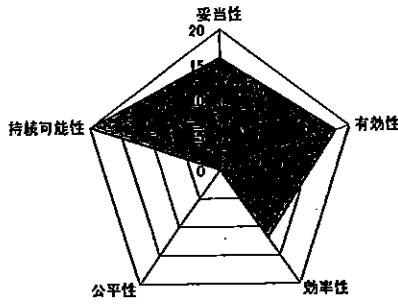
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5 点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5 点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5 点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3 点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5 点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5 点	
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5 点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1 点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5 点	
(4) 公平性 (20点)	0	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1 点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5 点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5 点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5 点	
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01800
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価をスポーツ推進基金に積み立てるための事業であるため、(1)妥当性④、(3)効率性②及び④の評価には適していません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five criteria: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The 妥当性 criterion has a score of 20, while the other four criteria (有効性, 効率性, 公平性, 持続可能性) each have a score of 10. The chart is a five-pointed star with concentric lines representing score levels.</p>		
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 平成29年12月に締結した「市立吹田サッカースタジアム ネーミングライツ基本協定書」に基づき、平成30年1月より、ネーミングライツで得た対価をスポーツ推進基金に積立て、その対価を実際にスタジアム利用促進事業に充当していますが、ガンバ大阪のホームタウン関連施策の推進、スタジアムや市立スポーツ施設とその環境の充実等を図る費用に充当するのは平成30年度以降となります。 ネーミングライツで得た対価を上記事業に活用することで、スポーツの推進やまちの活性化、市の魅力向上を図ることができることから、本事業の実施意義は大きいと考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南吹田市民体育館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成2年度	改正 内容	組織改正、使用料改定による											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則 スポーツ基本法第12条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民体育館利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性・快適性が確保されます。												
(7) 事業概要	南吹田市民体育館において、吹田市公共施設最適化計画に基づき、計画的に改修工事を行います。													
(8) H29事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	35	大事業	01	中事業	04	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)				47,732	41,548								
	人件費	職員数	人		0.10	0.10								
		総額(B)	千円		806	806								
	総事業費(A+B)				48,538	42,354								
	特定財源(C)				0	0								
	(内訳)	国				0	0							
		府				0	0							
		その他												
市負担(D)				48,538	41,548									
(内訳)	地方債				0	0								
	その他				0	0								
	一般財源				48,538	41,548								
財源計(C+D)				48,538	41,548									
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
		主な委託内容	②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③											
内容														
<input type="checkbox"/> その他														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容	吹田市立南吹田市民体育館外壁改修工事			目標	工事期間内で改修工事を行います。 (平成29年12月26日～平成30年3月15日)
	②	成果内容	滞りなく改修工事が完了しました。			達成状況	工事期間内で改修工事が完了しました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		外壁の改修により、外壁のズレや塗装の剥がれ等が解消されました。 施設の老朽化に伴い、大規模な改修や整備が必要なため、吹田市公共施設最適化計画に基づき計画的に行う必要があります。 事業費は適切であります。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	南吹田市市民体育館改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01816				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
a. 利用者が対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01816
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。平成29年度に外壁の改修工事を実施しましたが、吹田市公共施設最適化計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--